



「備えをせよ。あなたも、あなたのところに集められた
全集団も備えをせよ。…… 諸国の民の目の前に
わたしの聖なることを示し、彼らがわたしを知るためだ。」
(エゼキエル38：7、16)

ハレルヤ！ 樹木の葉っぱが、紅（くれない）やオレンジ、黄色に輝く秋ですね。いよいよ、白馬セミナーが近づきました。セミナーに合わせて、今回、刊行することが許されたマガジン39号をお届けしますね。

チア・にっぽん立ち上げ当初から応援くださっていた三浦光世さん、増山律子ランスタッド副会長シリーズ、チア・オリンピックに向けてメッセージをくれた阪神タイガース&ホームスクーラーのスタンリッジ投手、そして、白馬セミナー基調講演者のリック・ポイヤールさんほか、編集している中、とても深く励まされ、考えさせられました。どうぞ、お楽しみに。

神様の働くところで、大きな喜びの中に歩まれておられる方々もいれば、様々な困難や厳しい試練が許されている方々もおられると思います。私自身も、大小、いろいろとあります。忍耐と謙遜と誠実さで、主にあって心折れることなく、感謝して歩いていければと願っています。

今年の白馬セミナーも、参加者の皆さんの魂がいやされ、知恵と判断の心が与えられ、強められ、新たに出発できるものとなれば、と祈っています。晩秋の大収穫の時を願っています。皆様のご参加、また、今年、無理な皆さんは、ぜひ、祝福のお祈り、どうぞよろしくお祈りします。

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫

チア・サポートスクール保護者会での Q&Aタイム

9月中旬、日本に2週間ぶりに戻ってきました。チア・サポートスクールの保護者会に参加して、メッセージとフリーディスカッションの時を持たせていただき、興味深い質問を多く受けました。

「(Aさん) 留学先として、アメリカの大学の受け入れ状況は？ 具体的な大学名と共に、」

「(稲葉) 基本的に、日本からのチャーチ&ホームスクーラーの受け入れは積極的です。来週、エミリー(16)とシカゴのウィートン大学やムーディ聖書学院に見学に行く予定ですので、今度、レポートしますね(7ページ参照)。ロサンゼルスで言えば、バイオラ、アズサ大。サウス・カロライナはポブ・ジョーンズ大。ケンタッキーのアズベリー大ほか、たくさんの大学の門戸が開かれています。真祈史が行っているバージニア州(ワシントンD.C.の隣町)のパトリック・ヘンリー大学は、ホームスクーラー率70%の一番薦めたい大学ですが、残念ながら、留学生への門戸が開かれていません(新鋭の大学でもあり、政府の様々な認可が必要で、政府との距離感も保ちたいためとのことです)。短期間(6-9ヶ月)であれば、YWAM等のスクール(DTS)などもハワイ、LA等にあり、既にチアのホームスクーラーも参加していますね。まずは、



チア・オリンピック 神様に向かって走る！(1500メートル走)

家族で力走！：大使君(5才)、母・堀井ユリさん(女子7位)、左端は、次男勇士君(男子3位)

シカゴレポート、また、そのあと、LAでクリスチャン系大学20あまりの紹介フェアがあり、参加予定ですので、報告しますね(7ページ)。

「(Aさん) 今、高認を受けていて、留学を考えていますので、ぜひ、よろしくお祈りします」

「(Bさん) しつけ、懲らしめ、スパイク等で、感情的になってしまいがちです。ほかの家族生活

でも感情的になり、わかっているにもかかわらず自分があります」

「(稲葉) よく分かち合ってくださいました。感情的になってしまうことを、すでに自覚され、みんなの前で真摯に、涙と悔い改めの心をもって話されているので、すでに半分以上、解決の半ばにあると思います。おっしゃってくださった通り、感情が激しているときに、懲らしめ、愛のむち、スパイク等はやめるべきだし、聖書的な懲らしめではないですね。ある人は、自分が感情的になっているときは、30分待つとか、あるいは半日とか、翌日に延期しているという話も聞いたことがあります。感情によるスパイクは、虐待になるリスクもありますね。スパイクは、なぜ必要なのか、聖書がどのように命じているのか、事が起こる前の普通の時に子どもたちに話しておき、もし事が起こったら、聖書の懲らしめの命令と前に話し合っていたことを確認し、子どもたちも聖句や意義を思い出し、了解の上でスパイクを授け、スパイクを受け取る。そして、悔い改めの祈りと共に抱きしめ、あとは、すんだこととして白紙。二度と持ち出さないといった、大事な原則がありますね。ぜひ、感情的な時はしないことを徹底してください。そのほか、怒りの問題は、過去に受けてきた傷ほか、いくつかあるかと思います。ルー・プリオロさんの『キレる子どもたち』も一つ、ヘルプになると思うので、ご参照ください」

兄・姉が妹・弟に義憤！ その時の教育法

「(Cさん) 姉のDが弟のEを諭すのですが、言葉が悪いときがあります。どうしたらいいか、と」

「(稲葉) お姉さんの動機は良いと認めてあげた上で、ことばの悪いところを懲らしめる必要があるかと思えます。いくら動機が良くても、感情的で、自制できない怒りだったり、悪いことばであったりしたら、社会に出てからも良くないと思えます。先日、E君が、『どうせ、僕はバカだもん。お姉ちゃんがそう言うもの』と言ってたことを耳にしました。それは両者、良くないと思えます。こうした兄妹の関係で、自分の反省も含めて、最近、教えられたことがあります。Cさんの場合に当てはまらないかもしれませんが、チアのメンバーのある兄妹 (F君、Gちゃん) を見ていて、そのように思いました。F君は、Gちゃんの動きをよく注意しますが、Gちゃんは頑固で、F君の注意は聞きません。F君はとても苛立っています。ご両親を見ていると、「まあ、F君、Gちゃんは、(君より) 小さいのだし、いいじゃないか」。最近、僕は、真祈史 (21) と話していた時に、エミリ (16) との関係において、そのような時があったな一と思いました。真祈史に「僕らが小さい頃、ダディは、僕がエミリを注意しても、まあまあと言って、逆に僕の方をなだめるから、エミリは、僕が注意しても何も聞かなくなってきたよ」「そうか、真祈史、それは悪かったね。許してくれ」



走り幅飛び

と言って、たとえば、両親がいない時等は、真祈史に全権を委ね、真祈史に従順に従い、もし、エミリやジョセフに何かあれば、帰ってから真祈史は僕に報告し、懲らしめが必要であれば、そのようにするという約束を家族内でしました。エミリとジョセフとの関係においては、同様にエミリにゆだねることにしました。これまでの僕の反省を込めて。それは、我が家では機能しています。聖書でも、長子とか、年齢の上下とか、意味があるものとして出てくるし、年下の子だから、かばうのではなく、年上の正しい部分を認め、尊厳を守りつつ、接していく必要を覚えます。これは我が家とF君、Gちゃんの事例で教えられていたことで、Cさんのケースには当てはまらないかもしれないですが」

「(Cさん) そうですね。我が家の場合は、弟のEはよくスパイクされて、お尻が真っ赤になっていますので(^)、その事例とは当てはまらないかなとは思いますが。でも、姉のDの怒りについて、しっかり取り上げて、必要あればスパイクしていくべきものだと聞いて、とても心がすっきりしました。確かに、その通りで、『怒り』や悪いことばは矯正していく必要がありますね。心が定まったと思います。ありがとうございます」

体育対策

ランニング・長距離走の勧め！

「(Hさん) 我が家の子の(男子11才)は、エネルギーが有り余るタイプです。週2回、水泳教室に通い、思いきり泳いでいますが、それでは全然足りません」

「(稲葉) これについては、ここ3人ぐらい、アメリカの基調講演者のお父さんが、みな、同じ答えを言ってました。中・長距離を走らせることですね。これには僕も賛成だし、すぐに今日からでもできて、効果も現れやすい、実践的なアドバイスだと思います。ランニングは、お金がかかりません。どこでも、誰でも、一人でもできます。たとえば、お母さんが自転車や車でついていくとか、あるいは、先に場所を決めて、先回りして待っていると、一緒にできます。また、その後、どのスポーツに展開していても、走ることは基礎運動ですから、必ず役に立ちます。心肺機能が鍛えられるし、精神力も鍛えられ、「心技体」で、信仰や実社会での歩みにも役立ちます。

できるだけ、ゆっくりペースで、1時間以上走っていくと、毛細血管が育って、3ヶ月を超える頃にはランニング仕様の体に変化し始め、その上のレベル、20キロとか、あるいは自分の記録を破りながら15キロとか、どんどんできるようになっていきます。それができるようになって力余れば、ハーフマラソンや山岳マラソンもあるし、さらにフルマラソンもあります。フルマラソンでも4時間を切るトレーニングもあるし、さらに、トライアスロンとか、50キロ、100キロのウルトラマラソンとか、無限に開かれていく、奥深い競技で楽しいですよ(みんな笑い)。

「君は、競争心が旺盛で、そして努力を重ねることが好きですよ。当面は、チア・オリンピックの1500、将来的には、マラソンとかトライアスロンを目標に練習させたら、きっと喜んでやるんじゃないかな。水泳も得意なわけだし。そうすると、生活にリズムも出てくるし、力が余って困る、、なんて、もったいない悩みはなくなると思いますよ」

後日談。チア・オリンピック後、Hさんから連絡があり、「Hは、チア・オリンピックの1500にも出て、すごい楽しかったようです。それで来年は、1500メートルで上位をめざすんだと言って、とっても喜んで、一生懸命、走っています。ありがとうございます」とのことでした。

チア・オリンピックの恵み — 神様は、順位に関心なく…

先月号でお約束しました、第3回チア・オリンピックで教えられたことを分かち合わせていただきますね。当日(9月23日)は、220名の参加者(新記録)となり、楽しく、また、心身共に恵みにあずかり、また、私自身もいろいろと神様に教えられる時となりました。

今年も天気にも恵まれ、涼風の中、雲と青空で、熱中症の心配も無く、「最高のコンディション!」と

の声、スタジアムにあふれました。神様の恵に感謝です。3年目ということもあり、今年は、「1年越してトレーニングしてきました!」「この日を目標に強化できて、心身共にプラスでした」といった声が増える中、11種目が実施されました。特に短距離の4種目に、初めて予選、決勝も取り入れ、「一層、本格的な競技会となってきた」という雰囲気、今回の各種目入賞者の記録や当日の写真やビデオが、ホームページにアップされています。ぜひ、ご覧ください。

入賞者の皆さんは、本当におめでとうございました。日頃の練習の成果が表れて、良かったと思います。この記録に高ぶらず、謙遜に練習を重ね、来年、さらに上を目指してください。今回、惜しくも入賞を逃した皆さんも、お疲れ様。順位に関わらず、ベストを尽くせた皆さんは、とても良かったと思います。去年、阪神タイガースのスタンリッジ投手が、チア・オリンピックの皆さんにメッセージを寄せてくれた通り、神様は順位に関心はなく、皆さん自身がどう走ったかを見て、応援してくれています(詳細は、マガジン62ページ以降をご覧ください)。僕も、皆さんの懸命な姿を見て、本当に楽しかったし、うれしかったし、順位に関わらず、おめでとうございます! ぜひ、努力を続け、来年の挑戦に励んでいきましょう!と思いました。社会で神様の栄光を現すためにも、体力、気力を養うことも大事だと思いますので、きっと益と変えられると思います。

何かの事情で、全力を尽くせなかったとか、不本意なまま終わったみなさん、がっかりしないで、すべて感謝で切り替えていきましょう! 僕も、その一人です。心新しくする、精神力の鍛錬にもなるし、すべて益と変えられる神様を信じて、来年をめざしましょう!

絶好調から、大会数日前に肉離れ! その時、教えられたこと



ジャベリックスロー(やり投げ)



100分の1秒差で洋二さん、勝利！（100m予選）
このレースで、著者は肉離れが悪化、応援団へ

では、その僕自身について書きますね。1年越しで準備し、大会直前に、長距離走は自己最高を塗り替えるところまでいきましたが、数日前の練習中に軽い肉離れ。朝一番の競技の100メートル予選で完全に痛めてしまい、「選手」としてではなく、参加者のみなさんのサポート役として、喜ぶことを学ばされることになりました。以下、ドキュメントです。

これまでお伝えしてきた通り、昨年のチア・オリンピックでの1500メートル走に刺激を受け、11月から長距離走に目覚め、趣味は？と聞かれると、「今は、聖句暗記しながらのランニングです」と答えるぐらい、大好きになりました。最初は、1500走るのがやっとだったのに、2-3ヶ月すると、1ヶ月に100キロ~200キロぐらい、走れるようになりました。8月は日本に来ていて、サマーキャンプやジョセフのケア、そのほかで忙しく、走る時間はほとんど取れませんでした。9月初旬にLAに戻り、1ヶ月ぶりに練習復帰。チア・オリンピックまで3週間。日数が足りないなーとちょっと焦りながらスタートすると、8キロ走、15キロ走で、だんだん7月のレベルに戻り、そして、最後は自己最高タイムとなりました。4月中旬から3ヶ月、休むことになったふくらはぎ下部（ヒラメ筋）のケガも回復し、「傷むことは良い面もある。ケガをしても、しっかり治せば、そこはさらに強くなる」と聞いてた通りになり、すごうれしかったです。

垣根を越えて学ぶことの重要性

ただ、ふと気づいたのは、15キロ走と1500メートル走では、走り方が全然違うなーということでした。「1500メートルの準備、できてなかったなー。1年間、どうして気づかなかったんだろうー」と少し焦って、1500メートルの準備を急ごしらえで始めました。それでも、4-5回走って、何とかペー

スがつかめてきました。これで、1500は何とか大丈夫。でも大会まであと2週間に迫って、ふと気づいたのは、「あー、100メートルや200メートルの準備、全然してなかったー」ということ。それで、短距離走の練習方法の本とかを求めて、これもつけ刃で、急きょ練習を始めました。最初は、「やっぱり、練習不足だー」と思う感じで、かつて中間テストや期末試験で、直前に焦ったような状況でした。でも、無名校からオリンピック選手や世界陸上レベルの選手を数名生み出している方々や、選手の走法の理論など勉強して練習してみると、全然違うスタートダッシュや加速ができるようになってきました。この1年で読んだマラソン等の約20冊の本とも、重なるところ、また違うところ等、理解が進みました。サッカーで、以前、日本代表チームをリードしていた中田英寿さんが引退後、陸上の選手に走り方を習い、「これを知ってたら、もっと走れたなー」とコメントを残していました。これは、理論を学ぶことの重要性、たとえサッカーの頂点を極めた方であっても、垣根を越えて学んでいない盲点に気づかれたことの告白であり、学ぶことの重要性の発見ですね。

これは単に、スポーツだけでなく、神様との歩みに通じることと思ひ、「理論中の理論」の「聖書」を読み続けることの必要を思いました。なぜなら、聖書は、「人生の理（ことわり）中の理（ことわり）」で、数千年の歴史に耐え、人間の反聖書の攻撃にびくともせず、世界中の人間の人生を変えてきた、その真理が、様々な角度から書かれているからです。王であったり、奴隷であったり、やもめであったり、漁師や農家や医師であったり、預言者であったり、様々な視点や人生から、...

急きょ、短距離走の練習を始めたものの……

大会1週間前。仕事の関係で日本に戻りました。去年や一昨年は、2日ぐらい前の帰国で、競技をするには結構、体力的にきつく、「日米を越えるのは、ずいぶん疲れることなんだなー」と体感していました。今年は9月5日までは、仕事で日本にいる必要があり、また、2週間弱で再び日本へ、...ということ、体力きついなーと思ひました。でも、1週間前に行けるということで、「これもよかったなー」と思ひました。ばたばたして、アメリカの出発日を1日遅く考えていて、気づいたのは出発5時間前というアクシデントもありました。でも、その夜も出発まで1日あるなと思ひて走り、15キロの自己最高を塗り替えていました。気持ち的には、「何とか、各種目、準備できたかなー」と、とてもうれしい来日でした。そして、日本到着後、さらに記録を伸ばそうと、手薄だった短距離のトレーニングを重ねていました。でも、2日ぐらいして、4月に痛めたふくらはぎの下部が、少しずつ違和感が出て痛くなっていました。最初は、その痛みの重要性に気づきませんでした。大会3日前、違和感は一ひどくなり、

痛みが増してきていて「あ、、、もしかすると、また、やってしまったかな、、、」と思い、3日間は、急ぎよ、練習ストップ。そして当日。

最初の種目の100メートル予選。昨年、5歳年上の堀井洋二さんに敗れ、56歳でも、洋二さんのように、さっそうと走りたいものと敬意を持つ一方、最後、全力疾走せずにあきらめて、悔い改めた、思い入れある種目です。今年から、レースには、スターティングブロックも使えることになり、初めてですが僕も使ってみることにしました。つけ刃ながら練習した短距離スタート、本番では？

備えをせよ！（エゼキエル38：7）

「バン！」号砲とともに、去年よりは良いスタートが切れました。でも、洋二さんの、もっと早いスタートが見え、「わー、洋二さん、さすがにスタート早いなー」と思ってしまいました。練習してきた走法はすっかり忘れて、ひたすら僕も追走。距離はどんどん縮まりました。1年間の長距離トレーニングで、心肺機能は確実に強化されています。でも、60メートルすぎたあたりから、ふくらはぎ下は痛みが走り、80メートルでは、ほぼ追いつきかけたものの、あとは流さざるをえませんでした。記録は13秒91。洋二さんは13秒90。100分の1秒差で今年も敗れることとなりました。でも、それ以上に、もはや僕の足は、4月に傷めた時ほどではないにせよ、ほぼ近い状況で傷んでいました。備えてきた1500メートルも、年齢別では優勝できると思っていた200メートルも、100メートル決勝も、棄権せざるを得ませんでした。

「1年間、準備してきたのになー」。傷んだ部分に氷をまいてアイシングしてくれた、チア・オリンピック実行委員長でスポーツインストラクターの藤

井一朗さんは言いました。「長距離と短距離は違いますからねー」「なるほどー」。やはり、ある程度のレベルをめざすためには、我流にとどまらず、十分な知識と、種目別の備えが必要なのだなーと思いました。

これも聖書にある通り、備えの必要ですね。エゼキエル書38章7節にある通りです。「備えをせよ。あなたも、あなたのごところに集められた全集団も備えをせよ。あなたは彼らを監督せよ」。目的は16節に書かれてあります。「諸国の民の目の前にわたしの聖なることを示し、彼らがわたしを知るためだ」。箴言には「自分の畑を耕す者は食糧に飽き足り」（12：11）ともあり、収穫めざして、耕しておく必要が書かれてあるわけです。

ホームスクーリングライフに当てはめてみると、我流にとどまらず、、、ともいえると思いました。その意味でも、白馬セミナー、皆さんと一緒に学べたらなーとも思いました。

我流に立たず、真理の情報に立って

ケガにより、残りの1日は、競技の運営、また、みんなの応援への専心でした。でも、それもOK&ナイスです。文字通り、聖書が言う通り、「すべて、感謝！」。肉体の鍛錬も大事ですが、一層、大事なことは、イエス様の模範に倣う、「自己犠牲の心」です。今回は、いろんな種目で「トップ争いに絡めるかなー。楽しみだなー」という思いもありましたが、ここは自分に死んで、、、という鍛錬が大事なのだと思いました（努力してトップを目指すことも、聖書的にはあるにせよ(^))。いつかは、自分の人生という競技は終わるのだし、現役ではなくなるわけです。残るのは、「愛」であるとするれば、バックアップにまわるのが一番、大事なかなーと思いました。見守っているのは、ちょっと信じられなかったけれど、1500メートル走をうれしく見送りました。初年度は37名参加ですごいなーと思っていましたが、今年は55名参加。評判を聞いて、クリスチャンではないランナーの方も加わって、福音にふれる機会ともなり、それもよかったです。

同じような境遇の方の気持ちも、少しわかりました。堀井翼くん（17）は、去年、1500メートルで優勝を目指していて、当日朝、競技器材の準備を手伝っている最中に、手をはさんで、病院行となって無念の欠場でした。「翼くん、去年の気持ち、少しわかるなー」。

勝ってもおごらず、不本意でも、感謝して心切り替えていく訓練、自分に死んで、キリストから目を離さず、他者のために生きる訓練、共に喜び、共に泣く体験。そして、我流にとどまらず、謙遜に知識・真理を求め続けること、、、。多くのことを学ばされたチア・オリンピックでした。



実行委員長の藤井一朗さん（チア・スポーツインストラクター）

HSLDAリーダーズセミナー・ 歴代基調講演者たちとの再会と励まし

翌日、ロサンゼルスに戻る必要がありました。HSLDA（ホームスクーリング法律擁護協会）のリーダーズセミナーに招いてもらったからです。ここ4-5年は、映画等の会議とスケジュールが重なって出られませんでしたので、今年は何としても思いました。ロサンゼルスに1泊し、翌朝、空路、東海岸のメリーランド州ボルティモアへ。今回は、ジョセフに加え、大学の志望校（近隣のイリノイ州シカゴの大学）の見学をしたいというエミリも一緒です。少し遅れて到着すると、会場には、全米や世界各地のホームスクーリングのリーダーの皆さんら200人あまりでの夕食会が始まっていました。僕たち家族の到着を見つけた、これまでの基調講演者のみなさんが、続々あいさつに来てくれます。

まず、グレッグ・ハリス。「Hiro、元気かい？ ソノは亡くなったんだけど、、、」「本当に残念。日本のみんなで祈ってたよ」「そうか、、、。また、日本にぜひ行きたいんだけど」「ぜひ、来て。また、招きますね」

続いて、ザン&ジョー・タイラー。「来月、私の誕生日に、リス（CBSのプロデューサーとなってパークの隣町に住む長女）が招待してくれるみたい。その時、Hiroがいれば、また会いたいけど、どう？」「ぜひ。たぶん、いると思うよ。連絡して」

イスラエル・ウェインさんは奥さんのブルックさんと共に。「イスラエルさん、日本でとても用いられましたよ。お継父さんに虐待された体験とか、赤裸々に話してくれて、多くのみなさんが胸打たれ、勇気を得ました」

エリザベス・スミスさんとマイク・スミスHSLDA会長「一番のテーブル準備してたんだよ。ぜひ、エンジョイしていきなれ」

テッド&マージー・トリップ夫妻が今回の基調講演者でした。「今朝のセッション、すごく励まされました」「ありがとう。そう言われると励まされるよ」「『聖書が教える親と子のコミュニケーション』、相変わらず、ずいぶん用いられていますよ。忙しいと思うけど、また来てください」「ぜひ、行きたい。秘書のサリーさんに早く連絡ください」

チア・カリフォルニアのスーザン・ビーティ理事長は、「来年、私たちのコンベンションのスケジュール、6月1週に変わるよ。でもまた、日本の様子を参加者に紹介してね」「ありがとう。でも、新スケジュール、もしかすると、チア・にっぽんのコンベンションと重なるかな、、、」「そうか、、、。ま、それでは、できるときにまた、ぜひ」

基本的人権・ホームスクーリングの 自由と権利を守る！

そして、HSLDAのマイク・ドネリー弁護士。「今度、海外の担当になりました。故クリス・クリッカ弁護士から、チアやHiroのことは聞いています。できることあれば、何でもしますので、ぜひ！」

法的には、ホームスクーリングの自由が確立されているアメリカですが、地域によっては、地元の児童福祉員からの昔ながらの嫌がらせ等があったりで、様々な戦いがあるそうです。たとえば、ちょうど州をまたいで引っ越し、その州の法律では、ホームスクーリングの登録（許認可ではないですが）の必要が定められ、その提出が遅れたので訴訟になったとか。あるいは、家で親御さんを預かることを巡り、親戚から通報され、それを受けた警察と福祉員が向かい、21歳のホームスクーラー卒の男性が先に着いた警察官に丁寧に対応。ところが警察官は法律を無視して、強引に家宅捜査をし、人権侵害で、その警察官を訴えて訴訟に至り、支援しているケース等、報告がありました。いずれも、「基本的人権」「信教・良心の自由」「学問・教育の自由」「親の権利、ホームスクーリングの権利」について、一步も譲らない、その凛とした姿勢は大したものだなーと思いました。HSLDAでは、10数名の弁護士が働き、約10万のホームスクーリング家族がメンバーとして所属し、このムーブメントを推進しています。日本や各国政府も、そうしたHSLDAの法的な活動、米国政府の対応、300万家族を超えるホームスクーラーの潮流等の影響下で、日本等での行政的な判断をしているともいえます。その意味で、私たちも間接的に恩恵にあずかっているわけですので、HSLDAやアメリカのリーダーたちの献身的、先駆的な働きに、心からの感謝を覚えます。

マイク・ファリスHSLDA理事長が時間を取ってくれ、チアや日本のホームスクーリングの現状をアップデートできました。奥さんのピッキーさんの体調がすぐれず、再訪は実現してないのですが、「また、行きたい」と常に話してくれます。「パトリック・ヘンリー大学にも留学生を迎えられるようにしてほしい」と伝えましたが、この点の実現は難しい模様。これは、将来、日本でホームスクーラーの大学ができたあたりで提携するとか、交換プログラムを持つとかなのかな、、、と、想像して楽しんだりしました。日本に戻ってから、デービス&レイチェル・カーマン夫妻から、メールが届きました。「会場ではばたばたして、ゆっくり話せなかった。でも、日本の思い出と、日本のチャーチ&ホームスクーラーの皆さんとの素晴らしい出会いは、忘れることができません。いつも、私たちの祈りの中にあるよ！」とのことでした。感謝だなーと思います。

大学2年になった真祈史との再会

3日目はフリータイムでしたので、2時間ほどド



パトリック・ヘンリー大学（ジョージア州）にて
真祈史（21）と再会！

ライブして、バージニア州にある真祈史の在学している「パトリック・ヘンリー大学」のキャンパスを訪ねました。これまでお伝えしてきた通り、ホームスクーラー70-80%を占め、創立はチア・にっぽんと同じ2000年ながら、すでに難関校の仲間入りをしている大学です。今年度の4年生の全米学力テストでは、全米トップにも輝き、CIA、FBI、ホワイトハウス等では、抜群の就職率に輝いています。キャンパス内の生徒数は、400名あまり。その家族的な雰囲気を入った真祈史が、ジャケットを着て現れました。「Hi 真祈史！」とジョセフは大はしゃぎ。「真祈史、ちょっと大人になったなー。今日はありがとう！」

真祈史に連れられて、全員の朝の礼拝、キャンパス、授業、図書館、寮と見てまわりました。学生たちが、「真祈史の御父さんですか？」と何十人も声をかけてくれたことがとてもうれしかったです。最後に、真祈史が週3日、働いている学内のコンピューター室を見学し、終了。とても感謝でした。

シカゴ・エミリの志望校訪問

HSLDAセミナー4日間を終えて、空路シカゴへ。翌日、2年前、チア東北サポートでボランティア同士として日本に向かい、エミリと親友になったキャリアと会いました。ボランティアでの出会いが友情も育んで、とても感謝です。

サンディエゴ育ちのホームスクーラー、キャリアはまだ16歳ですが、大学（ムーディ聖書学院）に合格し、今秋から大学1年生になって、寮住まい。将来、聖書翻訳家として、宣教活動をめざす彼女の大学生活を見ることも、エミリの旅の目的の一つです。日曜日は、急成長しているインターナショナル系の礼拝と一緒に参加、シカゴの歴史散策、子ども博物館等をめぐり、とても楽しいひと時でした。

翌日は、エミリが、第一志望の一つと考える、シ

カゴのウィートン大学。ここは、学生数2万3千人と、クリスチャン系大学としては大規模校。卒業生としてピリー・グラハム等も排出する伝統的な大学です。

エミリが希望するのは、宣教学部。宣教師として世界に出て行った卒業生の名前を刻んだ塔の校舎があり、感動的でした。学生向けの礼拝では、テッド・トリップ博士の弟のポール・トリップ博士が招かれてメッセージをしていて、3日前にお兄さんと話したばかりだったので不思議な感じでした。テッド博士を日本に招いたときには、ポール博士ともメールでやり取りしていました。2万人あまりの礼拝堂だったので、直接は話せませんでしたけど、とても良かったです。

ウィートン大学で、特に良かったのは、文学記念館があり、「ナルニア物語」の著者でホームスクーラーだったCSルイスと、その親友で「ロード・オブ・ザ・リング」のトルキンが用いた机が展示されていたことです。実際にふれることもできました。この机で書かれた書籍から、世界中の多くの人々が福音にふれることができた...、と思い、これまた感慨深いものがありました。ピリー・グラハム記念博物館もあります。これも使徒の時代から、伝道者として大きく用いられた人々の歴史館のようになっていました。ピリー・グラハム個人は、控えめに少し出てくるという感じで、これも、とても励まされる印象深いものでした。エミリもキャンパスをとて気に入っていました。

翌日は、キャリアの通う「ムーディ聖書学院」の見学です。靴屋職人からクリスチャンに導かれ、全米にキリストのムーブメントをもたらした伝道者、後年は、聖書学院や主に貧しい人々が集える教会、聖書学校の展開に力を注いだムーディの本拠地となる学院です。感動したのは、「学費は無料です。多くのおみなさんの献金で成り立っています。寮費、生活費として年間約100万円ほどはかかりますが、それのみです」ということでした。全学生が無料で授業を受けられるというのはすごいことだと思います。感動しました。キャンパスはシカゴのダウンタウンのため、緑あふれた...、とは言えないのですが、でも、宣教の実践に向けて準備しているという感じがあって、こちらも良い印象を持ちました。

主の山に備えあり！

どちらの大学も、日本のチャーチ&ホームスクーラーへの門戸を広く開けていました。導かれる方は、英語力と信仰をしっかりと備えておけば...、と思いました。

ロサンゼルスに戻った翌日は、上記の通り、クリスチャン系の20大学の紹介フェアがありました。やはりエミリの第一志望大学グループのアズベリーとか、パイオラ、アズサ...、と、情報が与えられ、と

でも恵みでした。並行して、日本のチャーチ&ホームスクーラーの受け入れ状況も聞き続けましたが、どこもとて積極的でした。フェアに出来なかったそのほか200余りのクリスチャン系大学は、どこも同様の状況だと思います。そのあたり、導かれているのであれば、扉は広く開かれていますので、準備も進める道もあるかとは思っています。いろんな道で、「主の山に備えあり」の状況だと、改めて思われました。

白馬セミナーで情報と休息と励ましを！

最後に、今回の白馬セミナーですが、まだ、参加未決定のみなさんは、ぜひ、ご参加を祈ってくださって、…、と思い、心からお勧めいたします(^)。基調講演者のリック・ポイヤーさん家族と、上記のHSLDAセミナーで再会することができました。奥さんのマリリンさんは、14人の子どもたちを育て、今も2人の子どもたちを育てる現役ホームスクーラーママで、やさしく、温かく、日本への思いも熱く、とても良い印象でした。お嬢さんたちも爽やかで、弁護士となった息子さんたちも優秀で、ご両親への尊敬も厚く、その「実」は素晴らしいと思えました。そうした家族、特に、ホームスクーリングが違法とみなされていた1980年代から30年あまり、パイオニアとしての働きを支え続けてきた「頼れるパパさん」のようなリックさん。建設会社等、2つの会社を経営する忙しさながらも、特に、ここ3年ぐらいは、基調講演者として招かれている回数が出ていて、主に用いられていて、過去2年は日本へ行きたいとの意向はあっても、スケジュール的には無理で、今回、ようやく道が開かれた経緯もあります。まさに円熟し、今、一番、神様に用いられているリックさんです。また、もう一人の基調講演者のジョイス・イノウエさんは、昨年も大変、好評でした。白馬で初来日以降、チアの皆さんとのネット等も通して、今春も来日講演、そして、この秋も、ほかのセミナー等にも招かれながら、白馬にかけつけてくれます。今年は、去年よりもさらに専門的な角度から、子どもたちへのニーズに応えるセッションを多数、準備してくださっています。

上記のHSLDAセミナー参加の、ベテランのリーダーたちが、謙遜に、熱心に学び続ける姿からも学習し、励まされました。既に、子育ては終わっているだろうと思われる方々が多いのですが、孫や次世代のためにと、とにかく熱心でした。ネットワークを築き続ける必要も思いました。また、ランニング・短距離走のケガでの体験でも、できるだけ個別で、正確な情報を得ながら準備を重ねていく必要を感じています。そうした情報収集の場、ネットワークの場として、ぜひ用いられたらと願います。

子どもたちと親との関係がいかに影響を与えるか。大切であるか、…、ということも改めて教えられた日々です。チャーチ&ホームスクーリングは本当

に苛酷であり、思い通りいかなかったりして、精神的に疲れたり、がっかりしやすい時もあると思います。聖書の教えに沿い、それだけ意義も効果も大きいわけですが、日々、忍耐と信仰が求められ、疲労も蓄積すると思います。今回の白馬セミナーが、何より休息の場としてリフレッシュする場として、神様が導いてくださったらと深く願っています。

「しかし、神である主は、私を助ける。それゆえ、私は、侮辱されなかった。それゆえ、私は顔を火打石のようにし、恥を見てはならないと知った。私を義とする方が近くにおられる。だれが私と争うのか。」(イザヤ50：7、8)

「起きよ。光を放て。あなたの光が来て、主の栄光があなたの上に輝いているからだ。見よ。やみが地をおおい、暗やみが諸国の民をおおっている。しかし、あなたの上には主が輝き、その栄光があなたの上に現れる。……あなたの息子たちは遠くから来、娘たちはわきに抱かれて来る。そのとき、あなたはこれを見て、晴れやかになり、心は震えて、喜ぶ。海の富はあなたのところに移され、国々の財宝はあなたのものとなるからだ。」(イザヤ60：1-5)

「あなたがたは恥に代えて、二倍のものを受ける。人々は侮辱に代えて、その分け前に喜び歌う。それゆえ、その国で二倍のものを所有し、とこしえの喜びが彼らのものとなる。」(イザヤ61：7)

「備えをせよ。あなたも、あなたのところに集められた全集団も備えをせよ。……諸国の民の目の前にわたしの聖なることを示し、彼らがわたしを知るためだ。」(エゼキエル38：7、16)

どうぞ、皆さん、白馬セミナーへの祝福をお祈りください。

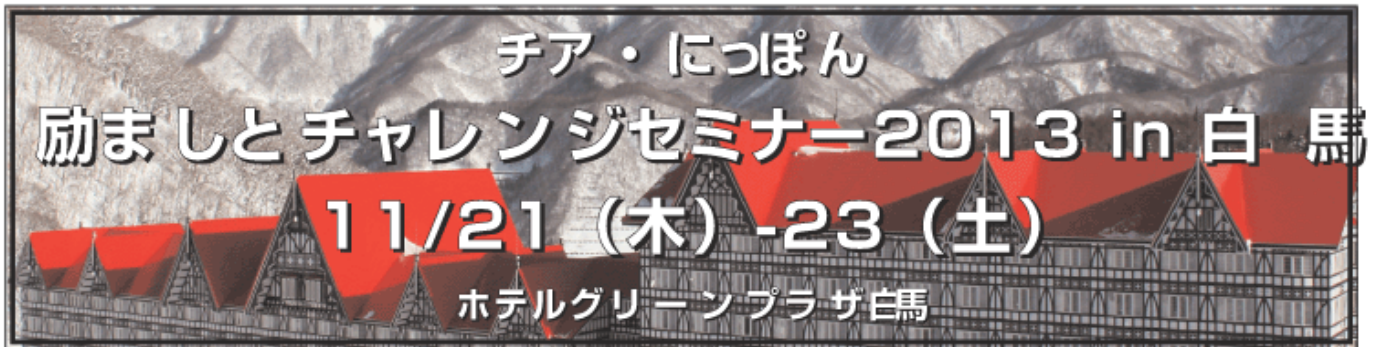
皆さんの上に、神様が大きい恵みと祝福を増しくわえてくださいますように。

感謝しつつ

稲葉 寛夫



メダル授与式



基調講演者 **リック・ポイヤー氏** (ラーニング・ペアレント代表、『社会性のワナ』著者)
ジョイス・イノウエさん (チャイルドD代表、学習障害のスペシャリスト、
 クリスチャン教育セラピー代表)

■リック・ポイヤー氏

【講演タイトル】

- ・「我が家のホームスクーリング30年間 - 14人の子どもたちを教えながら学んだレッスン (Our First 30 Years of Homeschooling- Lessons Learned from 3 decades of teaching 14 kids)」
- ・「偉大な人物に育てる秘訣 (Bound for Greatness)」
- ・「山を動かす人を育てる - 教育において高いゴールを達成する秘訣 (The Making of Mountain Mover- Using the secrets of high achievers in educating your kids)」
- ・「子どものしつけについて (Child Discipline)」
- ・「社会性というワナ (The Socialization Trap)」
- ・「箴言：神に似た性質を育てるカリキュラム (Proverbs: God's Character Curriculum)」
- ・「学ぶことを、楽しくするために (Making Learning Fun)」

■ジョイス・イノウエさん

【講演タイトル】

- ・「学習障害とは？ 子どもたちを正しく導く方法 (What Are Learning Disabilities? How to Detect Them Accurately.)」
- ・「聴覚能力の弱さを強化する方法 (Strategies for a Child With Auditory Weakness.)」
- ・「視覚能力の弱さを強化する方法 (Strategies for a Child with Visual Weakness.)」
- ・「なぜ私の子どもはじっと座っていたり、学んだり、集中することが難しいのか (Why Does My Child Have Trouble Sitting Still, Learning, and Keeping Focus?)」
- ・「特別な必要を持つ子どもたちを、神の視点から見る (God's Kingdom Perspective on Unique Needs of our Children)」

※各講師陣の講演内容は、15ページ以降に掲載しています

★ 早期申込特典!! ★
 プレゼント

11月4日までにお申込＆入金済みの大人の方に、
 聖書に基づく教科書「聖書6」、「聖書10」、「聖書11」
 (各2800円)、「りか1」「りか2」(2310円)、DVD聖書
 (日本語字幕版)、単行本「ちょっぴりホームスクー
 リング考えてます?」「チャーチ&ホームスクー
 リング入門」「カウンセリングのためのクイックパイ
 プル」(各1680円)、「レガシー」(1980円)、「マガジ
 ン10冊無料券」の中から、いずれかひとつ、もれなく
 プレゼント! このチャンスをお見逃しなく!

仙台バス
 (大型バン) 運行

- 11月21日(木) 朝6時 明泉学園 発
- 11月23日(土) 午後2時 グリーンプラザ白馬発

明泉学園への前日宿泊(無料)可能です(寝袋持参
 の可能性あり)。

バス代無料(申し込み人数によって等、運行しない
 可能性もあります)。

詳細は、チア事務局にお問い合わせください。

東京 / 大阪チャーターバス ※完全予約制

1人でも多くの方が参加できるように、チアからのせいいっぱいの応援です！ ※先着順

●東京往復

(大人/中高生¥7,000、小学生/幼児¥6,000)

11/21 東京：午前8時発 ホテル：午後2時着
11/23 ホテル：午後1時半発 東京：午後6時着

●大阪往復

(大人/中高生¥8,000、小学生/幼児¥7,000)

11/21 大阪：午前7時発 ホテル：午後2時着
11/23 ホテル：午後1時半発 大阪：午後7時半着

ホテル送迎バス

(長野・白馬町・南小谷・白馬乗鞍)

※完全予約制

<行き>

- 長野駅 12:10発
- 南小谷駅 11:50発、13:05発
- 白馬町 13:50発
- 白馬乗鞍 14:45発

<帰り> ホテル出発時間

- 長野駅行き 13:20発
- 南小谷駅行き 13:50発
- 白馬町行き 14:50発

ご希望の方は、11月15日(金)までに下記申込用紙あるいはEメールにてお申し込みください。

格安チャーターバス(先着50名) & ホテル送迎バス申込書 FAX 03-6862-8648 Eメール office@cheajapan.com

代表者お名前 () 乗車人数 () 名 携帯番号 ()

ご希望のバスに○をつけて下さい 東京バス 大阪バス ホテル送迎バス(※↓)

※ホテル送迎バスの方は、ご希望の場所をご記入ください。 行き () 帰り () 行

一般の交通手段のご案内

☆行き的手段(11月21日) ※(送迎=ホテル送迎バス：完全予約制)

・新宿より高速バス(片道¥4700、往復¥8500)京王高速バス：予約制 <http://www.highwaybus.com>、03-5376-2222

- A 新宿駅西口発 8:00 ⇒ 白馬町着 12:44 ⇒ 白馬町発(送迎) 13:50
- B 新宿駅西口発 9:00 ⇒ 白馬町着 13:44 ⇒ 白馬町発(送迎) 13:50

・新宿より電車(特急)(片道¥7560~)

- A 新宿駅発(あずさ3号) 7:30 ⇒ 南小谷駅着 11:42 ⇒ 南小谷発(送迎) 11:50
- B 新宿駅発(スーパーあずさ5号) 8:00 ⇒ 松本駅着 10:38 ⇒ 松本駅発(JR大糸線) 11:08 ⇒ 南小谷駅着 12:59 ⇒ 南小谷駅発(送迎) 13:10

・東京より新幹線(片道¥7770~)

- A 東京駅発(あさま513号) 9:52 ⇒ 長野駅着 11:28 ⇒ 長野駅発(送迎) 12:10
- B 東京駅発(あさま515号) 10:24 ⇒ 長野駅着 11:51 ⇒ 長野駅発(送迎) 12:10
- C 東京駅発(あさま517号) 10:44 ⇒ 長野駅着 12:33 ⇒ 長野駅発(路線バス：白馬乗鞍行き) 13:10 ⇒ 白馬乗鞍着 14:45 ⇒ 白馬乗鞍発(送迎) 14:45 (※多少、集会に遅れますが、予備候補です)

・名古屋方面より電車(片道¥6620~)

- A 名古屋駅発(ワイドビューしなの5号) 9:00 ⇒ 長野駅着 11:57 ⇒ 長野駅発(送迎) 12:10

※ホテルは駐車場完備ですので、自家用車でもOkです(アクセス情報→www.hgp.co.jp/inf/Z01/hgp/access.html)。

☆帰りの手段(11月23日) ※ホテル発→(ホテル送迎バス：完全予約制)

- ・新宿まで高速バス：ホテル発 14:30 ⇒ 白馬町着 ⇒ 白馬町発 15:35 ⇒ 新宿西口着 20:19
- ・新宿まで電車(特急)：ホテル発 13:50 ⇒ 南小谷駅着 ⇒ 南小谷駅発(あずさ26号) 14:22 ⇒ 新宿駅着 18:34
- ・東京まで新幹線：ホテル発 13:20 ⇒ 長野駅着 ⇒ 長野駅発(あさま532号) 14:59 ⇒ 東京駅着 16:32
- ・名古屋まで電車：ホテル発 13:20 ⇒ 長野駅着 ⇒ 長野駅発(ワイドビューしなの18号) 15:00 ⇒ 名古屋駅着 18:05

ユースセッション 新設！ (13歳以上)

LIT以外の13歳以上のティーンを対象とした新しいプログラムを計画中です。今年のサマーキャンプでもユースセッションは大好評でした。新しい出会い、喜びに満ちた楽しいプログラム！ ござってご参加下さい。希望者はパンフレットのお申込書でお申し込み下さい。

第8回 チア・にっぽん杯 読書感想文大会 募集中！

良書を読むこと、感想文を書くことは、神さまの栄光を現す力となります。昨年も20作品の素晴らしい作品の数々が寄せられました。今年もたくさんのご応募、お待ちしております！

- ◆対象作品：チア書籍（どれでもOK）、あるいは三浦綾子作品（どれでもOK）、
「ソウル・サーファー」「イエスさまと十字架」「明泉学園の聖書絵本」もOK
- ◆部門：（1）幼稚園の部（200～600字） （2）小学生の部（400～1600字）
（3）中高生の部（800～2000字） （4）一般の部（800～2000字）
- ◆締切：11月8日（金）
- ◆発表・授賞式：11月21日（木）夜7時 白馬セミナー会場（予定）
- ◆送り先：〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103 チア・にっぽん事務局 「読書感想文係」
（※メールでも受け付けています →office@cheajapan.com）

第7回「グランプリ！大会」開催！

自作のレースカーで競い合うグランプリ大会を、白馬セミナーで開催します!! 白馬でもキットを販売しますので、2日目夜までに完成させての参加もOKです（500円）。参加資格は、今年度制作のレースカーです。

昨年に引き続き、今回も「スピード部門」「美術部門」の2部門で競います。「美術部門」コンテストの郵送受付は11月8日まで。郵送先はチア事務局へ（白馬参加の皆様はご持参ください）。作品は白馬セミナーで展示し、優秀作品は表彰させていただく予定です。

レースカーキットは、誰でも作れます。形や色も工夫できます。車軸は差し込むだけなので、トンカチ必要なし。お母さんや小さい子どもたちでもできる楽々セットです。気軽に、ござってご参加ください！ 工作・技術の向上はもちろん、素晴らしい家族の思い出にもなりますよ！

現在、キットの申込を受付中です。ご希望の方は、お名前、ご住所、お電話番号、希望個数を明記の上、メール（office@cheajapan.com）、またはFAX（03-6862-8648）でお申込みください。



昨年の白馬セミナーでのレースの様子

白馬セミナー来日記念 先行掲載

学習障害における神の摂理

ジョイス・イノウエ



学習障害は、日本の親ばかりでなく、世界中の親たちにチャレンジをもたらしています。その影響は、あらゆる年代、あらゆる経済状況、あらゆる文化的な背景を持つ人々に及んでいるのです。我が子に学習障害があり、じっと座っていることが難しかったり、課題をこなすことに問題があると分かると、親たちは心臓が止まるほど驚いてしまいます。また、子どもが学習障害に直面する姿に接することには、痛みが伴います。我が子が傷つく姿を見ることになり、それは親である私たちや家族にとっても傷となりますから。

学習障害とは、勉強をすることに何らかの問題を抱えていることを表す総称です。人によって症状は様々ですが、最も影響が出る分野としては、読むこと、書くこと、話すこと、判断力、数学を解くことに現れます。

学習障害の人が勉強に困難さを覚える時、自分は頭が悪いという非聖書的な「嘘」をたやすく受け入れてしまうものです。こういう状態になると、さらなる非聖書的な嘘に扉を開く形となり、程なくして家族全員が、健康を脅かす「ウィルス」にかかったように、影響を受けてしまいます。すると、その影響によって、喜びや平安は心配や絶望へと取ってかわられます。絶望や失望は私たちの心や思いに入り込み、私たちは、現代社会の持つ、様々な疾患の犠牲者となってしまいます。子どもたちはその嘘にいたぶられ、いじめられたり、虐待されたり、拒絶されたりして、絶望でいっぱいとなってしまいます。

学習障害を持つ人を助ける「鍵」は、彼らの「強い点」を明確にし、ただ彼らの「弱い点」にばかり目を向けてしまうことを避ける方法を提供することです。弱さを補うために、彼らの強さや興味を用い

ることで、学習面でもポジティブな影響をもたらすことを発見するでしょう。さらに、「すべての考え（はかりごと）をとりこにする（第二コリント10：5）」という主のみことばに従って、正しく、真実で、励ましの霊を取り戻し、神の「真理」を手に入れることで、学習への意欲が増し、視野も広がり、希望をもたらすこととなります。そして、ホームスクーリングは、その神の真理をベースに、朝も昼も夜も教え続けることができるので、その意味でも、神が命じる最良の教育方法です。

世の中の基準か、神が語られる真実な姿か

40年間にわたり、あらゆる年代のクライアントとその家族を診断し、教え、訓練し、取り扱う中で、学習障害や特別な学習の必要性を持った人に対しては「神の国の視点」をもたらすことが、極めて重要だと分かりました。神の視点がなければ、簡単に感情に流されてしまいます。その結果、情報に翻弄され、何が真実かが分からなくなり、傷ついたセルフイメージを築き上げるようにという世の中のささやきに影響されてしまうのです。こうなると、世の中の基準の「奴隷」となるか、みことばを通して神さまが語っている真実な姿のどちらを取るかの戦いです。

私は次のことを改めて思い返しています。つまり、神さまが私たちの子どもたちを創造され、世の始めから彼らの親として私たちを選ばれたということ——。神さまは、「奇しいことをなさって恐ろしいほど（詩篇139：14）」の完成度で、子どもたちを創られたのです。神のみことばは言います。「わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。——主の御告げ——それはわざわざではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ」（エレミヤ29：11）。子どもたちの将来には平安があります。そして、神さまは決して間違わないお方なのです。

神さまこそ主権を持ったお方

おそらく、子どもたちが特別な必要を抱えている親たちは、その事実を腹を立てたことでしょう。そのような怒りは、世界中に見られます。他の子どもたちは困難さを覚えていないのに、我が子がつまずいている時、誰もがそんな反応を示さずにはいられません。「どうして我が家にだけ、こんなことが起きたのですか」。そう神さまに問いかけることでしょう。そして、こんな取引を神さまと始めます。「私がもし

このことをしたら、あなたは子どもの困難を取り除いて下さいますか？」。

さらに、子どもを助ける術が分からないと、親は罪悪感を持ち始めます。そして、神さまは自分の叫びも祈りも聞いておられないのではないかと疑い始めるのです。本来できることにさえ、希望を失ってしまいます。これらの反応や応答は、我が子が学習面でチャレンジを受けている時は当然のことでしょう。子どもたちが周りに壁を築き上げ、失望の中に落ち込み、あきらめる姿を見ると、親たちは恐れを抱いてしまいます。

神さまに何かを問う時には、神さまこそ主権を持ったお方であるという真理を握らなくてはなりません。ヨブ記38：2～7において、神さまはこうおっしゃいます。「知識もなく言い分を述べて、摂理を暗くするこの者はだれか。さあ、あなたは勇士のように腰に帯を締めよ。わたしはあなたに尋ねる。わたしに示せ。わたしが地の基を定めたとき、あなたはどこにいたのか。あなたに悟ることができるなら、告げてみよ。あなたは知っているか。だれがその大きさを定め、だれが測りなわをその上に張ったかを。その台座は何の上にはめ込まれたか。その隅の石はだれが据えたか。そのとき、明けの星々が共に喜び歌い、神の子たちはみな喜び叫んだ」。

私たちには、「なぜ」神さまが障害や困難を許すのか、明確な理由は分からないことでしょう。けれども、「どなた」がそれを許されたかは知っています。全能の神さまはすべてを支配しておられます。神がすべてを支配しておられることを信じるなら、それが決して揺るぐことのない信仰の「土台」となるでしょう。そして、「人は心に自分の道を思い巡らす。しかし、その人の歩みを確かなものにするのは主である」ことに気がつくのです。信仰によって、私たちは神さまがすべてをコントロールされていることを知ります。

子どもたちが長所、賜物、才能を発見する

神の真理が私たちの心に深く留まることで、特別な学習の必要を持つ人たちは、様々なユニークな方法で創られたことを悟ります。子どもたちに合った特別な方法を見つけることが必要です。私たちは探偵のようになって、子どもたちの長所、賜物、才能を発見できるよう、子どもたちを観察していく必要があります。彼らの弱さのうちにそれを見出すことはないかもしれませんが、彼らが輝いている分野でそれを探して見つけ出しましょう。皆さんの子どもは同情心にあふれ、愛があり、創造的で、芸術肌でしょうか。あるいは、運動神経が良いでしょうか。それとも、包容力がありますか。もしかしたら、ダンスや歌、記憶力、あるいは他者を励ます能力を持っているかもしれません。それとも、言語能力にあふれ、表現力がありますか。あるいは、祈りの勇士であり、心を尽くし、思いを尽くし、精神を尽くし

て主を愛する人になるかもしれません。

主に頼り、神に信頼を置く時、神の道は高く、私たちが弱さの中にも神の栄光は輝き、暗やみを砕くことに自信を持つことができます。詩篇139：15、16において、神さまはこうおっしゃいます。「私がひそかに造られ、地の深い所で仕組まれたとき、私の骨組みはあなたに隠れてはいませんでした。あなたの目は胎児の私を見られ、あなたの書物にすべてが、書きしるされました。私のために作られた日々が、しかも、その一日もないうちに」。エレミヤ1：5ではこう語られています。「わたしは、あなたを胎内に形造る前から、あなたを知り、あなたが腹から出る前から、あなたを聖別し、あなたを国々への預言者と定めていた」。神さまは、世の中から見れば弱者とされる人々を選び、高ぶる者を恥じさせます。私たちが直面するチャレンジや困難さは、偶然的出来事ではありません。いやむしろ、私たちの信仰を強め、神への愛情を深めるために重要な出来事であり、主の栄光となるのです。

主のみことばによって私たちの目は開かれ、子どもたちが神に似せて創られた者として見るできるようになります。遠い未来に希望を置くことはありません。子どもたちを誉め、励ましましょう。子どもたちと時間を過ごし、ホームスクーリングを続けましょう。子どもたちの長所を伸ばしながら教えていくことで、将来、子どもたちは成功を手にするでしょう。神が共にいらっしゃるならば、すべてのことは可能なのです(マタイ19：26)。神さまは私たちのすべての祈りに耳を傾けて下さり、必要のすべてを満たして下さい、まさに「ジェホバ・ジャイラ」です。



白馬セミナー2013 抄録 (五十音順・敬称略)

<リック・ボイヤー氏>

■「我が家のホームスクーリング30年間 - 14人の子どもたちを教えながら学んだレッスン (Our First 30 Years of Homeschooling-Lessons Learned from 3 decades of teaching 14 kids)」

ボイヤー夫妻は1980年代からホームスクーリングをしています。当時はホームスクーリングが広まって間もなく、実践している家族もほんのわずかしかない時代でした。夫妻は、ホームスクーリングという旅路において助けとなる資料がわずかしかないことを知ります。懐疑的な祖父母や敵意を持つ学校や当局、孤立無援に見える状況。暴風雪（ジョークです）のような障害を乗り越え、自らの道を切り開かなければなりません。ボイヤー家は30年を経た今も、13番めと14番めの子にホームスクーリングを実践しており、また、書籍の出版や、講演を通して、世界中の人々に自らの経験を分かち合っています。リック氏は、自身が学んだ神さまからの最も深遠なレッスンの中から、珠玉のポイントを選び、お伝えします。

- ・これは学校ではなく、弟子訓練。
- ・「生活」が、カリキュラム。
- ・子どもは可能性そのもの！
- ・社会性とは、社会主義・共産主義者のことばです。
- ・ジョージ・ワシントン大統領（ホームスクーラー）はリトルリーグに入らなくても、ちゃんとした人生を送れました。ほか。

Rick Boyer and his wife have been home schooling since 1980. Starting out young and green in a time when only a handful of families was home schooling, Rick and Marilyn found few resources to help them in their journey. They had to blaze their own trail, surviving such obstacles as skeptical grandparents, hostile school authorities, unhelpful curriculum publishers, blizzards, Indian attacks... (just kidding). The Boyers are still home schooling today and now share their experiences around the world through their books and their speaking ministry. Rick will share some of the most profound lessons learned along the way, including:

- It's not schooling, it's discipleship
- Life is the curriculum
- The kid is the can
- Socialization is for socialists
- George Washington survived without Little League
- and many more!

■「偉大な人物に育てる秘訣 (Bound for Greatness)」

ホームスクーリングのゴールは、将来、第二のインシュタインを育てることではなく、子どもたちが神に召された分野で最大の能力を表せるよう準備することです。この分科会では、子どもたちが優れた学び手となり、ゴールを達成できるよう、子どもたちをどのように動機付けていくのか、その秘訣を見ていきます。神さまは、子どもたちが平凡な人になるのではなく、偉大な人になるよう召しておられます。聖霊なる神が子どもたちの内に与えた優れた人格をどのように養い育てていくか、親がなすべきことは何か、ぜひこの分科会で学んで下さい。

The goal of homeschooling is not to produce future Einsteins, but to prepare our children to reach their maximum potential in every area of activity to which God calls them. This workshop explores the factors that motivate children to become great learners and great achievers. God has not called any of our children to mediocrity but to greatness. Come and learn how to bring out the champion that the Holy Spirit has placed inside your child.

■「山を動かす人を育てる - 教育において高いゴールを達成する秘訣 (The Making of Mountain Mover- Using the secrets of high achievers in educating your kids)」

「学校」の宿題を単純にこなすだけの子どもと、世界を変えるために準備された子どもの違いはどこにあるでしょうか。この分科会では、過去や現在において、自分が置かれた時代や環境の中で変化をもたらし続ける人々の人生から、鍵となるレッスンを分かち合いたいと思います。日々の教育において高い目標を達成するために、力強いレッスンを適用できるよう、実践的な方法をお伝えします。子どもたちに学校の授業を押し付けるだけの勉強はやめて、ぜひ世界を変革する人となる準備を進めましょう！

What makes the difference between a child who just jumps through the hoops to get his "school" work done and one who sees himself as preparing to change the world? In this workshop Rick Boyer shares key lessons from the lives of several people, past and present, who made a lasting difference in the culture around them. You will hear practical methods for applying the powerful lessons of high achievers to your day-to-day teaching. Don't just school your children? prepare them to be world changers!

■「子どものしつけについて (Child

Discipline)]]

14人の子どもたちの父親であるリック氏は、家庭が平安に満ち、生産的であるためには、従順が大切であることを知りました。聖書のことばと自身の経験から、うわべの行動を正すテクニックではなく、互いに愛し合う関係を築く原則を分かち合います。

As the father of fourteen children, Rick Boyer knows the importance of obedience to a peaceful and productive home. Here he shares, from Scripture and his own experience, the principles that make child training a loving relationship rather than a set of behavior modification techniques.

■「社会性というワナ (The Socialization Trap)」

ホームスクーリングの子どもたちは社会性の発達が遅れるのでは……という、この世の通念に、多くのホームスクーラーたちが不安を覚えることがあります。リック氏は聖書のことばや教育学的調査、何千、何万というホームスクーラー家族の経験から、この逆が真実であることをお伝えします。実社会に向けて子どもたちを準備するために、家庭においても、教会においても、コミュニティにおいても、子どもたちは実社会で、実践的に生きて行く必要があります。年齢で区別されるような学校社会には置かないで下さい。この分科会では、「社会性はどうですか」という、ホームスクーラーたちが常に受けるチャレンジに、確信と真実をもってどのように対応していくか、お伝えします。

Many home educators are intimidated by the common myth that children who are taught at home are at a disadvantage in social development. Rick Boyer draws on Scripture, scientific research and the experience of thousands of home-teaching families to show that the opposite is true. To prepare children for the real world, they need to be in the real world: family, church, and community - not locked away from society in age-segregated schools. This session will help you respond to the constant challenge: "What about socialization?"

■「箴言：神に似た性質を育てるカリキュラム (Proverbs: God's Character Curriculum)」

もし、皆さんが世界で一番賢い人だとしたら、子どもたちにどんなことを教えたいですか。この質問に答えるためには、旧約聖書の箴言を理解する必要があります。この世で最も賢い人として神に特別に選ばれたソロモン王が自分の息子たちに書き残したことは、「神の知恵と知識を得ることが最も大切なレッスンである」ということでした。この分科会では、神の知恵の書である箴言を実践的に適用する方法と、子どもたちへの伝え方を分かち合います。

If you were the wisest man in the world, what would you teach your children? You can learn

the answer to that question by understanding the Old Testament book of Proverbs. There, a man specially chosen as a son by God records for his own sons, the most important lessons of wisdom and knowledge. Here is a practical application for the Book of Wisdom, including several ways to teach it to your children.

■「学ぶことを、楽しくするために (Making Learning Fun)」

トーマス・エジソンはアメリカにおける最も偉大な天才の1人です。彼が優れた才能を持っていた理由として、彼は学校に3ヶ月間、在籍しただけで、あとは母親によって教育を受け、ホームスクーリングで育てられたことが挙げられます。彼の母親は、勉強とは楽しいものだとして信じていました。彼女の哲学はその後、何万、何十万、何百万ものホームスクーラーたちを通じて、実を結ぶこととなりました。ホームスクーラーたちは、「組織の」アプローチから自由を得て、「自然で賢明な」本来の教授法に戻って行きました。自分たちで「学校」を作り上げようとするのは止めましょう！ この分科会では、子どもたちの学び方に改革を起こし、全家族にとって学びが楽しくなるよう、8つの簡単な方法を提案したいと思います。

Thomas Edison was one of the greatest geniuses our country ever produced. Part of the reason for his brilliance was the fact that, after attending school for only three months, he was educated at home by his mother, who believed that learning can be fun. Her philosophy paid off, as it has for thousands of other home educators who have broken free from bondage to the "institutional" approach and returned to natural, sensible ways of teaching. Stop making a school of yourself! This workshop gives eight simple suggestions that can revolutionize your child's learning and make home education fun for the whole family.

<ジョイス・イノウエさん>

■「学習障害とは？ 子どもたちを正しく導く方法 (What Are Learning Disabilities? How to Detect Them Accurately.)」

この分科会では、なぜ子どもたちに学習障害が起こるのか、なぜ集中力を欠くのか、あるいは、なぜ教えたことを暗記し、思い出すのに苦労するのかについて、その「原因」となる障害を示します。さらに、子どもたちのどの部分に弱点があるのか、またその理由を発見する方法を示します。また、この分科会は次の分科会の伏線となり（視覚的障害、聴覚障害、記憶障害、あるいは上記3つすべて）、皆さんの子どもがまさにそれに当てはまると感じる分科会になるでしょう。

This workshop will bring forth the "root" difficulties to why our children are having difficulties learning, staying focused, or having difficulty

remembering what was taught. This workshop will show you ways to detect where your child may have weaknesses and why. This workshop also is a pre-requisite to the following workshops, or the workshop you feel your child best fits into. (Visual, Auditory, Memory, ... or all three).

■「聴覚能力の弱さを強化する方法 (Strategies for a Child With Auditory Weakness.)」

皆さんの子どもは、あなたがおっしゃったことを覚えておくのが難しいですか。または、話したことをいつも間違っ理解していますか。あるいは、話したことを子どもが覚えておくために、何度も繰り返し話さなければならないのでしょうか。この分科会では、こうした聴覚能力に必要な子どもたちを教え、愛し、共に活動していくための方法をお伝えします。

Does your child have difficulty remembering what you say? Do they always seem to misunderstand what is spoken? Do you feel like you have to repeat what you say many times before they understand what you say? This workshop will give you strategies when working, teaching and loving children with these kind of auditory needs.

■「視覚能力の弱さを強化する方法 (Strategies for a Child with Visual Weakness.)」

皆さんの子どもたちは、たとえば読み書きや、数学の文章問題を解くこと、自分の思いを文章で表現することに、何か困難を覚えていますか。もしかしたら、それは視覚的な問題があるのかもしれませんが。この分科会では、子どもたちの視覚的な弱点を認識し、かつ、その弱点があっても学習面で成功するための方法を紹介することで、皆さんの教育方法を補強したいと思えます。

Does your child have difficulties with written material, whether writing or reading, writing math problems and completing them, or expressing themselves by writing? Your child may have a visual processing weakness. This workshop can enhance your teaching style with strategies to recognize your child's possible visual weaknesses and help your children learn more successfully with visual weaknesses.

■「なぜ私の子どもはじっと座っていたり、学んだり、集中することが難しいのか (Why Does My Child Have Trouble Sitting Still, Learning, and Keeping Focus?)」

皆さんの子どもたちは、四六時中、動いていますか。課題を最後までやり遂げることが難しいでしょうか。すぐに注意力が散漫になりますか。この分科会では、ホームスクーリングをしている時の必要や、集中力が要求される状況に対応するための理解力と専門的な教

育法をご紹介します。

Does your child always seem to be on the move? Do they have difficulties completing tasks? Do they seem to be easily distracted? This workshop will provide understanding and specialized techniques to address these needs when you are homeschooling your children, or when they are in environments that require them to focus.

■「特別な必要を持つ子どもたちを、神の視点から見る (God's Kingdom Perspective on Unique Needs of our Children)」

特別な学習の必要を持つ子どもたちを神の視点から見るとは、私たちの呼吸に必要な酸素と同様、必要不可欠なことです。神のみことばを明確に理解することで、私たちの心は一新され、この世の中で、今まさに子どもが必要とする親となっていくのです。子どもが学習障害を持つか否かに関わらず、神さまは「この世にあっては患難があります」とおっしゃいます。この分科会では、神に選ばれた親として、神の御手によって「恐ろしいほどに素晴らしく」創られた子どもたちに仕え、教え、愛することができるよう、理解力が変えられた人生を手にするのでしよう。

Having God's Kingdom perspective when working with the unique needs of our children is as essential as the air we breathe. Having God's Word clearly understood will transform our hearts and allow us to be the very parent(s) each of our children need in a world such as this, in a time such as this. Whether our children have learning difficulties or not, God says, "in this world we will have tribulation..." As God's chosen parents this workshop will help you to gain life transformational understanding that will allow us to best serve, teach and love our children in their "fearful and wonderfully" made ways.

◀ 基調講演 ▶

■「私が育った家庭と父の模範」

ビリボ・ブローマン

苦しい事情のなかで父は神の命令（夫たちよ。妻を愛しなさい。つらく当ってはいけません。コロサイ3：19）を守る決心をしました。そして、死ぬまで守り通したのです。その為に、私も兄たちも救われ、孫や曾孫までその祝福を受けています。父の孫たちはいま八つの国々に行き、福音のために働いています。家庭のなかで妻、夫、子どもたちが守るべき神の命令について話したいと思えます。

◀ 分科会 ▶

■「えっ！大学受けるの？ & 今の中学校現場より」

阿部 俊之&寿子

長男が大学受験をすると決めてからドタバタした我

が家の様子を、関西弁のマシガントークでお伝えします。本当に大変だったんだからね……。 (母より)

また、クラス担任として、部活動顧問として、教科担任として関わっている公立中学校の現状を、教師の立場から話させていただきます。 (父より)

■市川 晶子

■「チャーチ&ホームスクーリング - 必ず聞かれる20の質問」

稲葉 寛夫

「チャーチ&ホームスクーリングって何？」そんな質問への答えから始めて、全体像をつかめるセッション。スタート済みの皆さんには、知人・友人へのプレゼンテーションへの参考に。「社会性は？」「微分、積分ができなくても教えられる？」「聖書が教える教育法は？」「しつけは？」「大学進学、就職は？」「ホームスクーリング・マインドのチャーチスクールって？」「週2時間からできるC&Hって？」。この13年の全国各地でのセミナーで多かったQ&Aをベースに8時間コースを50分に短縮した、一度は必修のコース！

■「何でもQ&A」

稲葉 寛夫

正しいことをする時、時に、困難は許される。未熟な時にも、次のステージに行くために、愛のムチは許される。チャーチ&ホームスクーリングの本質、聖書に立ち返り、全力で神を愛そうとする時にも、困難は許される。その状況の中でも「だれが私たちに敵対できるでしょう」という圧倒的な勝利の道、全力で神を愛する道を選ぶことができる。悔い改めつつ。ノックダウンされても、ノックアウトされず。信じること、聖霊にゆだね、まっすぐに歩くこと、希望と勇気を失わず。そして、福音を伝えるという目的を目指して。神様に示される知恵、本質からぶれずに、全力で神を愛する！ 何でも質問してOKの時間でもあります。

■「人を生かす世界観」

宇佐神 実

なぜ聖書による教育が大切なのでしょうか。日本の公教育はヒューマンイズム思想に基づく創造主抜き教育で、聖書の真理を教えられる事はありません。日本ではあまり知られていませんが、ヒューマンイズムの教えは、聖書と相反する教えです。聖書の世界観とヒューマンイズムの世界観の違いを考え、親子共々に聖書の世界観で生きる事の大切さを考えましょう。

■「ノアの洪水と地質学」

宇佐神 実

「地形や地層が短期間でできる」と聞いたらびっくりするでしょうか、それとも当然だと思うでしょうか。聖書をそのまま信じる科学者たちは大部分の地形や地層はノアの洪水の時に短期間でできたと考えてきました。そして近年の地質学では、地層が短期間でできる

ことが実証されています。聖書に基づいて科学を研究することの大切さを考えましょう。

■「終末を待つ上での教育」

太田 仁一

「あなたはイスラエル人に命じて、ともしびを絶えずともしておくために、燈火用の質の良い純粋なオリーブ油を持ってこさせよ。……夕方から朝まで主の前に絶えず、そのともしびをととのえておかなければならない。これは、あなたがたが代々守るべき永遠のおきてである。」(レビ24:2、3)

キリストは、私たちに、ともしびを整え、油を用意して花婿の来るのを待たなければならない、と教えられました。私たちは、賢い乙女のようにともしびを絶やすことなくかけ、質の良い油を携えてその日、その時を待ちたいものです。

■「子どもに境界線を教えること」

木谷 直也&尚美

境界線とは、何が私であり、何が私ではないのか、その範囲を明確にすることです。私が何を所有し、何に対して責任を負っているのか(責任の所在)がはっきりした人生には多くの可能性があります。そして、これを教える目的は、子どもが自ら動機を持って行動し、親の人生ではなく、自分の人生の中に自らに結果を課すようになることです。今私たちは、「境界線」について子育ての中で学びながら、教えつつあります。ともに「境界線」について考えてみませんか？

■「主を喜ぶことは、あなたがたの力である。「賛美と証しのひと時」」

ギンター・マイケル&千為子

ホームスクーリングをする中で、主はたくさんの素晴らしい贈り物を私達に与えてくださいました。その中の最も大きな一つは、家族で主を賛美する喜びでした。今回は、三人息子の兄弟バンドにも加わってもらって、神様の素晴らしさをほめたたえ、神様に感謝と賛美を捧げ、神様の素晴らしさを証しするひと時を過ごしたいと願っています。

■「ホームスクーリングに導かれて/佐野家の振り返り」

佐野 章人&喜枝子

家族が中心だった東欧スロバキアでの生活。帰国して急速に家族の絆が崩れて行くことへの焦燥感。そんな時間いたHSの話は、私たち夫婦の心をとらえました。一方、HSに泣いて反対する中学生の長女、家族より友達といるのが大好きな幼稚園の次女、まだ何も分からない幼い長男を目の前にして心は揺れます。HSを始めて1年の歩みを振り返ります。

■「クリスチャンホームで育った罪人」

ジュディス・ブローマン

クリスチャンであるどの親でも、子供がイエス様を信じる人になってほしいと願います。しかし、クリス

チャンホームで育つ子供でも、キリストが召し、新しい心を与えなければ、信じる事ができないのです。神様から悔い改めの心を頂かなければ、決して自分の罪深さを理解することはできません。私もその一人でした。神様が与えてくださった親（ポール、せつ子・ブローマン）が今の私にどれほど大きな影響を与えたのか、自分の育ちについて分かち合いたいと思います。

■鈴木 啓子

■スミス・グレッグ&とも子

■「勉強って楽しい！ 勉強の正しい方法論」

関 智征

「勉強していると他のことが気になって、勉強が進まない」「暗記できない」「なんで、勉強しなきゃいけないの。楽しくない」と思っている若い世代に、勉強の楽しさ、勉強には「正しい」方法論があることをお伝えできたらと思います。（ティーン向け）

<予定トピック>

- ・なんでもメモ術
- ・メールやネットの誘惑
- ・解答欄に書くな。ノートに書け
- ・ツッコミをいれながら、読む
- ・暗記術
- ・試験後ごほうび
- ・本屋・図書館活用
- ・なぜ勉強するのか

■「いつのまにか5年目 ～日々之精進なり～」

棚田 伊作&加代子

決してダイナミックな、波乱万丈の大家族物語ではありません。英語教室を営み、県営住宅に住んで12歳と9歳の子どもをホームスクール（HS）して早5年。毎年白馬セミナーに参加しては、無難にHSをこなしている自分の傲慢さを打ち砕かれています。周囲の家族を見渡しては、「あのお父さんのように、ちゃんと信仰教育してるかな……」と不安に陥ったりする私。そんな小さな器をも、愛して選んで用いて下さる神様に感謝します。HSを始めた頃の初心を、そして今現在行っていること、そしてこれからの方向性を皆様とシェアできれば幸いです。

■「子どもを神の子、キリストの弟子に育てたい！」

ダニエル・ファンガー

神様から授かった子ども（宝）を神の子、永遠の命に預かるもの、神の国のために実を結ぶキリストの弟子として育てたい！今は毎日そのような思いでいます。結婚3年半、子ども2人を授かり、結婚生活や子どもの養育を通して自分自身の信仰の成長につながっていること、また、自分が子どもの時に啓明小学校や親から受けた教えを思い起こしながら、感じることを分かつ合いたいと思います。一方的な話よりは、参加される皆さんとの交わりの時にできればと思います。質問などありましたらぜひお尋

ねください。

■「チャーチスクールのその後」

田村 正幸

今回は、チャーチスクールを休止してから約5年が過ぎた中で、経験させられたこと、教えられたことをお話します。また、現在進んでいる幼・小時期のバイリンガル教育（フェリーチェインターナショナルスクール）の現状も報告します。

■「常に初心」

中村 豪&由美子

ホームスクール3年目。5、7、11歳の三姉妹をホームスクーリング中。議論（口論？）、挫折？ 喜怒哀楽全て詰まった赤裸々な話をちょこっと。長野県でサラリーマンと主婦の一般家庭のドットンボタンホームスクール。

■「ホームスクーリングの恵みを味わいつつ -那須家HS10年目、後半戦に突入-」

那須 清志&百合美

2004年4月より始まったホームスクーリングも10年目になりました。長男（21歳）は大学生、長女（19歳）は看護学生2年生、次女（17歳）は7月からアメリカに留学し、学びの中心はホーム外へ。次男（15歳）は高校認定試験受験、三女（13歳）は10月に洗礼を受け、また一歩前進。HS後半戦と言えども、家族としてなすべきことは益々増える一方です。

私たち夫婦は今年で結婚25年。その間の10年間のホームスクーリングを振り返り、たくさん味わった主の恵みを報告いたします。一部、子どもたちの近況報告も行う予定です。

■ナタン・ブローマン

■「お子様の海外留学に関して」

ピーター・ブロックソム

ピーター・ブロックソムが自身の3人の息子を含め、100人近くの生徒（半数以上が日本人）を米国の大学に送り届けた経験をお話します。このセッションは、保護者と生徒が目標を実現できるような情報の提供を目的としています。

取り上げる議題：

・米国・ヨーロッパ・アジアにおける学習の選択肢について

・外国での高校と大学の違い

【留学に関する、基本的な疑問】

・留学は安全？

・卒業後に日本で就職はできるか？

・留学大学への入学基準について。

・留学するのにどの程度の費用がかかるのか。

・キリスト教主義ではない大学に入ると子どもは信仰を失うことになるのか？

・留学したものの、無事卒業できますか？

- ・良心的な費用の大学にはどんなものがあるか？
- ・奨学金を提供する大学を見つける方法。

■「バプテスマのヨハネ」

ビリボ・ブローマン

ヨハネは荒野に住んでいて、教育も財産もなく、着ている服も食べ物も質素で粗末な物でした。奇跡も一つも行いませんでした。

何故、彼はこれまで生まれた者のなかで、誰よりも優れていたのでしょうか（ノア、アブラハム、ジョセフ、モーセ、ダビデ、ソロモン、エリアなどの預言者よりも優れていた。ルカ7：28）

また、どのようにして、私たちのなかで一番小さい者でもこれより優れた技ができるのでしょうか（第二コリント3：7～11）

■「反キリストの現れ」

ビリボ・ブローマン

イエス様が教えてくださった「荒らす憎むべき者」が今、現れようとしています（マタイ24：15～27）。この全てのことをイエス様は前もって私たちに教えてくださいました。それで今、クリスチャンが覚悟すべきことや気をつけるべきことについてお話したいと思います。

■「子どもをしつけるための心得」

ビリボ・ブローマン

子どもが悪いことをする時（親に逆らう、嘘をつく、人をいじめる、物を盗むなど）、子どもを愛する親は、我が子を救うためにどのようにすれば良いのでしょうか。聖書の教えるしつけの大切なポイントについて、分かち合います。セッションの中で、「子どもをどのようにスパイクするか」お話したいと思います。

■「主にあって堅く立っていてくれるなら（テサロニケ3：8）」

藤本 泰俊&麻矢子

約10年前、長女誕生と同時期に、私達夫婦にチャーチ&ホームスクールのビジョンが与えられました。歩み始めてから、教会の中で、励まされた事や思いもしなかった事などがありました。その時々と与えられた導きと、「過保護」「共依存」「子どもを手放す」などの言葉を、夫婦がどのように受け止めてきたかなど、お話ししたいと思います。

■「ホーム・スクール、そしてホーム・チャーチに」

堀井 卓&勇士(16)

ホーム・スクールを始めて7年目、そして今年5月からホーム・チャーチに。家庭の中で学習し、家庭の中で礼拝する。また家を開放して、福音を伝えていければと祈っています(BBQ、クリスマス会などを開き、近所のご家族との交流を深めています)。そしていつの日か、子どもたちを世界に送り出すことができれば。

(プラス 勇士 カナダ短期留学報告)

今年2月～7月、次男勇士がドリームカナダを通して5ヶ月間のカナダ留学に行ってきました。大自然の中、神さまの愛を深く知り、少し成長して帰ってきました。カナダでの体験を勇士が報告します。

■「ホームスクーリングは子どもたちの発射台」

堀井 洋二

家族として、これほど大きな変化を経験した年はありませんでした。私たち夫婦は子どもたちとともに37年間集った教会を今年5月に離れ、自宅を開放して新しく教会を始めました。その1か月前、長男の与志也は宣教団体ユース・ウィズ・ア・ミッションのDTS（6カ月のトレーニング）に参加するため沖縄へ旅立ち、8月に高卒認定試験に合格した末っ子の帆南は、姉の瑠都が昨年から学んでいる軽井沢のSYME「英語で学ぶ聖書学校」に合流（入学）。。今までずっと私たちのそばにいた子どもたちが、あれよあれよという間に次々と飛び出していくのです（笑。二男の伊左久だけは10月の中小企業診断士（2次試験）を目指して、自宅と図書館を往復しコツコツと勉強していました）。クリスチャン、またホームスクーラーとして大きな節目を通過していますが、私たち夫婦は、子どもたちが旅立っていく姿を見てなんだかワクワクしています。「ん～なるほど、ホームスクーリングは子どもたちの発射台だったんだ」と……。今までを振り返って、またこれからを期待して、率直な思いを分かち合えればと思います。

■「我家が、10年前にHSをスタートした最大の理由…!!!」

松岡 淳裕&みぎわ

HSをスタートした時は、長男（基）が6歳、次男（恵悟）が4歳で、妻と私の4人家族でした。あれから10年と9ヶ月たった今、同じ屋根の下、同じ釜の飯を食べているのは、3人増えて7人になりました。三男（正心良）3歳、四男（裕貴）9ヶ月、母（私の）82歳が増員（？）されました。我家の呼称は「チーム松岡」と覚えて下さい。今までHSだからこそ出来てきたこと、今後もHSだからこそ、出来ると考えていることを分かち合いたいと思っています。

今は、妻と私のビジョンのもと、「チーム松岡」の方向性が定められていますが、今後は、子どもたちが自立していく段階で、それぞれに導きがあり、ビジョンが与えられてゆくと考えています。すでに、長男や次男などは、その兆候が表れ始めています。信仰ゆえに、犠牲を伴う生活は、必ずや主の祝福を得るものがありますが、そのシチュエーションは、良きにつけ、悪しきにつけ、自分の思い通りにはならないものです。例にもれず、「チーム松岡」も思い通りにならないことがたくさんあった中で、それだからこそ、大きな祝福に与ることしきりでした。近況報告とともに、「チーム松岡」が目指すところをお話しさせていただきます（淳裕）

今年2月、四男を出産し、15、13、3、0才のホー

ムスクールとなりました。まさか私が4人の母になるとは数年前まで考えてもみませんでした。私にとって、聖書を拠り所とし、日々創造主なる神に祈りながら子育てができる以上の喜びはありません。もし、10年前HSに踏み出していなかったら、このような価値観で育児はできなかつたばかりか、家庭の基本である夫婦関係のあるべき姿が何なのかさえ知らずに、人生における大きな損失と被害を家族に与えてしまっただろうと想像します。分科会では我が家のHSの日常と、私のHSを通して教えられた宝とも言うべき2つのこと、「妻は夫に従う」「お尻たたき」についてお話しできればと思っています。(みぎわ)

■「英語カリキュラムGrapeSEED の効果的な学習」

毛利 康夫&ジョーダン・ノガキ

自然な言語発展に従い母語的に英語を習得する。これがGrapeSEEDの基本理念です。効率よく英語が覚えられるように英語の特徴の一つである「頻出語」を機能的に学習するメカニズム、日本語と違う英語の音素に気づき、それを身につける練習のためのツールなど、GrapeSEEDは様々なコンポーネントから構成されています。今回のセッションでは、現在GrapeSEEDに取り組まれている方々により効果的な学習への取り組み方、日頃の学習に関する質疑応答を行います。すでにGrapeSEEDに取り組まれている方だけではなく、これから取り組みたいと思われている方々もご参加ください。

【チア事務局より】初めての方も参加OK！ GSは、普通は学園対象ですが、チア・メンバーの皆さんには、特別に個人対応をしています(入門コースCD2枚組(1000円+送料)を購入いただくと、GSスタートOKです。チア事務局にお申し込みください)。

■「今どきの大学生活 ～大学に行かせますか?～」

森山 剛&有佳子

大学生への伝道と弟子訓練を通して、昨今の大学生たちのキャンパスライフの現状と、その中で問題となっていることや就活状況などをお伝えすると共に、ホームスクーラーが大学へ進学することの是非や注意点など、キャンパスの伝道者としての視点からお分かちしたいと思います。又、我が家のホームスクーリング(長女:13年目、長男10年目、次女5年目)での、異年齢かつ、性格が違う子ども達をどう効果的に、また楽しみながら教えていけるか、お分かちします。

■「ネット、スマホ、ゲームの悪影響とその解放」

森脇 弘隆

ケータイ・ネットの普及により、それらが子どもたちの人格形成について破壊的な影響を及ぼしていることは、昨今のメディアでも取り上げられています。私は小児科医をしています。私の外来にもゲーム、ネット、携帯依存で悩む親御さんが相談に来られることがあります。小児科医のあいだでも、これらの諸問題はひとつのトピックスですが、残念ながら「現状では、

依存者には有効な手立てがない」というのが見解です。まだティーンホームスクーラーがスマホなどを自由に使える環境下にあることに私は非常に危惧を抱いています。今回は、これらの悪影響を整理し、その解放についても話したいと考えています。この世的には、手だてがなくとも、我らクリスチャンには、解放の道があるのです。共に祈り、励まし合いましょ。

■「7つの祝福と7つの落とし穴 ～チャーチ&ホームスクール8年目～」

山川 哲平&真紀子

チアと出会い、ホームスクールベースのチャーチ&ホームスクールに導かれて8年目。昨年、10月1日に、第7子で次男礼(れい)が誕生。現在は、7人の子ども達(咲良、心、臨歌、夢、契、美波、礼)と、合計5家族中心で英語中心のC&Hをしています。形にとらわれなくて、聖霊に導かれるままにスクーリングを進めています。実体験を踏まえて、「チャーチ&ホームスクールで祝福される7つのこと」や、「チャーチ&ホームスクールの7つの落とし穴」を分かち合いたいと思います。何よりも、主を愛し、主を慕い求める事こそ、全ての祝福の根源だと思ふこの頃です。祈りの祭壇が築かれるのであれば、子育ても、全ての面で満たされると信じます。祈りとディポーションを通して子ども達も変化し、子ども達がイエス様と出会うことを体験できたのが、今年の実です。

「チャーチ&ホームスクールの7つの祝福」

- 1、子ども達と共に時間を過ごすことができる。「トウギャザー ライフ」
- 2、マイペースで勉強できる。「競争から、共存へ」
「マイペース ライフ」
- 3、祈り、御言葉、賛美中心の生活。「ホーリー ライフ」
- 4、いつでも旅行ができる。奉仕を共に。「ワーク ライフ」
- 5、家族・兄弟が助け合うことができる。「ファミリー ライフ」
- 6、宣教のために備える生活ができる。神の英才教育
「ミッション ライフ」
- 7、イエス様が共にいて、いつも備えて下さる。「ジーザス ライフ」

「チャーチ&ホームスクールの7つの落とし穴」

- 1、ホームスクールさえすれば安心と思う時！
- 2、何のためのホームスクールか忘れる時！
- 3、ホームスクールより大切なものを見失う時！
- 4、見た目の実を見ることに焦る時！
- 5、マンネリに陥る時！
- 6、人や、他のチャーチスクールの生徒と比べたりする時！
- 7、ホームスクーリングができてないと思う時！親失格と思う時！

試写会 受付中!

「ファイアー・ストーム」「フェイスング・ザ・ジャイアント」 「アメイジング・グレイス」の無料試写会&DVD販売会 (少人数OK) 主催されませんか! 大好評受付中!

「ファイアー・ストーム」「フェイスング・ザ・ジャイアント」「アメイジング・グレイス」については、チア・にっぽんが正式な窓口となって、ソニー・ピクチャーズ社、ハピネット社に申請する道が開かれています。まずは資料をご請求ください。既に実施済みの教会、団体からは多くの感動と祝福のレポートが多数寄せられています。皆さんの教会でも、3作品からの大いなる福音伝道の業が、拡がっていくことを心から祈らせていただきます。詳細・問い合わせはチア・にっぽんまで (Eメール: kuwatani@cheajapan.com FAX03-6862-8648)。申し込み詳細は、HPでもチェックできます。www.cheajapan.com。お申し込みをお待ちしています!

聖書的・家族的作品、開催して良かった!という声が、多数寄せられています(下記&チアWEB www.cheajapan.com をご覧ください!)

少人数でもOK、無料です。主催してみませんか。教会などの公の場で視聴することは、残念ながら、違法行為です。許可を得ての上映には、通常、数万円から十万円以上のコストがかかります。でも、一人でも多くの方に見せたい聖書的な作品があります。正式に、しかもコストをかけずに上映の場を!ということで、与えられた方法が、「無料試写会+DVD販売会」という方法です。DVDの販売案内が映画配給会社と交わされた条件ですが、ノルマはありません。それで、下記の教会、クリスチャン団体で好評のうちに、展開が進んでいます。与えられた3作品は、どれも励まされ、福音の窓口となる優秀な作品です。このチャンス、逃すことなく、皆さんもトライされませんか?

＜上映した教会よりアップデート No.42 兵庫 神戸西バプテスト教会 「アメイジング・グレイス」＞

・ こういう勇敢な心と行動力を持った人の手で、歴史は変えられてきたのだなぁと分かりました。「アメイジング・グレイス」の賛美歌の意味はこれまでよく分かっていなかったのですが、これから違う思いで聞けそうです。また教会でこのような上映会があれば、また参加させて頂きたいです。(40代 女性)

・ 奴隷の人権を命がけて取り戻したことに感動しました。しかも無血によって成し遂げたことが素晴らしい。(女性)

・ 心が豊かになる映画でした。一人一人の信念、そしてそこに至るまでの主の導きを思いました。感謝。これからも、このような機会を望みます。(80代 女性)

・ 音楽も内容も素晴らしい。主人公の存在と彼の信仰に感銘しました。(男性)

・ 名曲「アメイジング・グレイス」のかけに、200年前のこの話があったかと思うと、改めてこの曲に接する時、「愛の尊さ」を思わずにはおられません。(70代 女性)

・ 知らなかったもので、すっかり見入ってしまいました。(80代 男性)

・ 長い戦いの末にようやく一念を通すことができ、世の中を変えていった人々の素晴らしさ。途中でくじけることの方が多いのに、長い戦いを投げ出すことなくブレずにやり遂げる。困難な道を貫き通す魂に敬意を表します。(50代 女性)

・ 奴隷制の廃止のために情熱を注いだ主人公とその仲間の人たちの強い思いに、心を打たれました。今の原発の問題にも似たところがあるような気がします。いけないことだと分かっている私たち……。ちょっと考えさせられました。(50代 女性)

試写会 「ファイアー」「フェイスング」「アメイジング」「ソウル」

感動の声、続々！開催してみませんか？

(無料！少人数OK！) お申込みはチャまで！

<今後の予定>

「フェイスング・ザ・ジャイアント」

- 11月17日(日) 青森
あすなる福音キリスト教会
TEL 017-722-7162
- 2014年1月26日(日) 京都
宇治福音自由教会
TEL 0774-23-2051

「ファイアー・ストーム」

- 11月16日(土) 北海道 音更町総合福祉センター

<開催いただいた教会・団体>

「ファイアー・ストーム」

- 山形 米沢興譲教会
- 山形 シオンキリスト教会
- 埼玉 東京バプテスト教会 三郷キャンパス
- 長野 中野キリスト教会
- 北海道 キリスト兄弟団 美幌教会
- 奈良 奈良西和教会
- 神奈川 主都福音キリスト教会
- 千葉 小倉台キリスト教会
- 長野 飯田馬場町教会東中央グレースチャペル
- 青森 あすなる福音キリスト教会
- 東京 南大沢チャペル
- 沖縄 コザバプテスト教会
- 山口 下関キリスト聖書教会
- 兵庫 赤穂福音ルーテル教会
- 千葉 稲毛聖書バプテスト教会
- 北海道 キリストめぐみ函館教会 ほか

ほか計110箇所

「フェイスング・ザ・ジャイアント」

- 青森 弘前キリスト集会
- 大阪 JECヒルズチャーチ
- 埼玉 KFG志木キリスト教会
- 神奈川 藤沢オリーブチャペル
- 静岡 インマヌエル綜合伝道団浜松キリスト教会
- 東京 調布バプテスト・テンプル
- 埼玉 東京バプテスト教会 三郷キャンパス
- 千葉 千葉グレイスチャーチ
- 山形 米沢興譲教会
- 奈良 奈良西和教会 ほか

計15箇所

「アメイジング・グレイス」

- 神奈川 クロスロードバプテスト教会

- 京都 宇治バプテストキリスト教会

- 埼玉 KFG志木キリスト教会

- 大阪 大阪みぎわチャペル

- 東京 弥生台キリスト教会

- 青森 弘前キリスト集会

- 兵庫 白い風

- 埼玉 越谷キリストチャペル

- 福岡 久留米聖書教会

- 青森 あすなる福音キリスト教会

- 山口 長府クリスチャンセンター

- 山口 下関キリスト聖書教会

- 兵庫 神戸西バプテスト教会

- 奈良 奈良西和教会

- 群馬 桐生キリスト教会

- 茨城 水戸第一聖書バプテスト教会 ほか

計34箇所

「ソウル・サーファー」

- 埼玉 KFG志木キリスト教会

- 奈良 香芝ゴスペルチャーチ

- 群馬 桐生キリスト教会

- 東京 柴又キリスト教会

- 神奈川 主都福音キリスト教会

- 奈良 山の辺クリスチャンセンター

- 埼玉 シャロームコミュニティチャーチ

- 佐賀 いのちのことばキリスト教会

- 京都 宇治福音自由教会

- 千葉 グレイス クリスチャン アカデミー

- 長野 中野キリスト教会

- 奈良 奈良西和教会

- 北海道 神居キリスト教会

- 千葉 うすいキリスト教会 ほか

計29箇所

天気はいいけれど、暑くなく、さわやかで、最高の運動会日和。主の祝福を感じました。チア・オリンピック、年々盛り上がっていますね！

最近、上の2人の子どもの年齢が上がり、家族全員で出かけることが少なくなりましたが、今回全員で参加できたことをとてもうれしく思っています。子どもも大人も全力を尽くす、という姿を目の前に見て、心から感動しました。

準備、受付、計測、記録、説明、どれも大変なお働きであったと思います。チアのスタッフの皆さん、ボランティアの方々、藤井先生、ありがとうございました。こんな楽しい、充実した素晴らしい企画を心から感謝致します!! (東京 堀井ユリ)

今年もスタッフの皆さん、藤井さんはじめ、多くのボランティアの皆さんの働きで、本当に楽しく、有意義な一日を過ごすことができました。

(神奈川 中村昌代)

楽しい1日で、本当にありがとうございました。運動に縁のない私には、参加するまでは正直気の重いイベントですが、去年と同様とても楽しかったです。

あまり走りたがらなかった龍人が、数日前に突然走る気になり、当日は本人なりに本当に頑張ったと思います。そして、チア・オリンピックが終わってからも、今のところ、龍人は毎日走り続けています。運動不足解消にいいことはもちろん、競うことより、自分のベストを尽くすことが大事なんだと少し理解したようで、本当に導きに感謝しています。

今回、何人かの方を通して、とても励まされました。私たちの必要を満たしてくださる主を心から賛美します。(神奈川 中山弘子)

友達に会えたり、新しい友達もできて、とても楽しかったです。ジャベリックスローも遠くに飛ばせてとても満足しています。1500mや障害物競走、きつかったけど走り切れて良かったです。(市川恵生、10歳)

第3回 チア・オリンピック アンケート



和やかな雰囲気の中で、親子共々楽しく過ごさせて頂き、本当にありがとうございました。3つのルール(目標)もわかりやすく、良かったです。足を痛めていらした稲葉さんや堀井さんが全力で走る姿を見て、男の子たちから「おお、すごーい」という声があがっていました。一所懸命全力で、主の栄光のためという思いが伝わったのだと思いました。

記録をつけることで、昨年からの成長を計ることができ、皆さんの励みになっていると思いました(計測は大変かもしれませんが!) ランチタイムの際、発表+交わりの時があったことが良かったです。色々な方のお話が聞けて、声がかげやすくなったり、子どもたちの成長を伺って、みんなで喜ぶことができたと思います。能登麻里さんの1500メートル、出走する姿も良かったです!

スタッフの方々が笑顔で働いていらっしゃるのを見て、心からホームスクーラーを応援されているのだなあと感じました。本当にありがとうございました。またお会いできるのを楽しみにしています。

(神奈川 南雲ファミリー)



お天気にも恵まれ、楽しかったですね。いろいろ労してくださった藤井さんや、スタッフの皆さんに感謝です。休日で主人も参加できて、とても良かったです。

今回は、青年&壮年の皆様が勇ましく走る姿を拝見し、素直に「男性ってすごいな」と思いました。尊敬できる気がします。男性は主にあって力強く創られているんだと、健全な男性観(?)が養われる感じもしました。お父さんの一生懸命な力強い姿が見られる事は、家族にとってすごくいい事ですね。

(神奈川 藤本麻矢子)

いろんな人たちと交わりを持つことができ、楽しかったです。100メートル走や200メートル走などに新たに決勝ができたことが良かったです。(中村義也、12歳)



主の御名を賛美します！ チア・オリンピック…楽しいひとときをありがとうございました！ 暑すぎず、雨からも守られ楽しい時間を家族で過ごせました！ 今年は決勝戦もあって、最後に表彰式もあったのでいっそう「オリンピック」らしくなりましたよね！ うれしそうな恥ずかしそうな喜びの皆さんの表情がステキでした^0^/

メダルを頂いた3才の宣恵はよっぽど嬉しかったらしく、その晩はメダルと一緒に寝て次の日もずっと首からかけて うれしそうにしていました！ (メダルの後ろにもちゃんと競技種目や順位が記されている事に感動しました！) すく

長男の大はメダルは頂けたものの、昨年の自分の記録に比べて明らかに体力・スタミナが落ちていることがわかり、だいぶショックだったようで、すべてにわたってやる気のスイッチが入った様です (感謝!!)

7才の幸音は決勝戦には残ったけれどメダルがもらえなかったのが悔しかったらしく、今日は図書館に行って早く走れる方法を調べて本を借りてきました！ 来年にむけて頑張るそうです！ (笑)

10才の美季はリレーの選手になったのに、割愛されてしまったので、すごく残念がっていましたが、それも含めて自分の中で色々目標ができたらしく、来年は1500mにも挑戦したいと言っていたし、悔しい思いというのも貴重な経験で感謝です！

長女の結衣も身体が変化していく中、競技に出るのに戸惑いや積極的になれなかった部分がありましたが、挑戦できたことに感謝です！

主人も間際になってですが、参加ができて感謝でした！

また、昼食時の自己紹介タイムもよかったです！ 昨年のスタンリッジのビデオメッセージもよかったです。ホームスクーラー同士がさらにお互いを知り合えるきっかけを作って下さって感謝です！

個人的には以前、チアスタッフをしていた南雲さん(旧姓：藤本恵理子さん)が近所に住んでいらっしゃる事がわかり、これからも、ホームスクーラー同士のお交わりの時に声をかけられるように連絡先を交換できたのがとても嬉しかったです。

(神奈川 梶山志津)

♪ ボイス&メール ♪ Voice & Mail

「聖書がわかる28の素敵なお話し」を送ってくださって本当に感謝します。地域のお母さんたち（ノンクリスチャン）との聖書の学び、聖書の紹介に活用したいと思います。

我が家の子どもたちが、幼児達のために毎週、礼拝をリードしてくれたり、ベビーシッターをしてくれるので、ママさんたちも安心してゆったり交わりをすることができています。

またホームスクーラーの雰囲気や様子を見て、子育てについての問題や課題を話すチャンスも得られ、子育ての学びも始まりました。ハレルヤ！

家庭力、家族力を最大に発揮できるホームスクーリングを通して主のご計画がますます前進するようにと祈ります。（千葉 渡辺まゆみ）

早速に「聖書がわかる28の素敵なお話し」を50冊、お送りくださりありがとうございます。有効に使わせていただきます。

先日、送料800円、献金1000円、送金しました。宜しく願いいたします。

ますますの祝福をお祈りいたします。（Aさん）

NEWS LETTERを送って下さりありがとうございます。

チア・マガジンのポール・ブローマンさんの記事を読み、大変感動しました。思い出の小冊子の一部希望します。

白馬セミナーを神様が豊かに祝福して下さいますように祈っています。（Bさん）



9月18日（水）午前6：11に3145gの元気な男の子を出産しました。本当に神様の護りと助け、家族や多くの兄弟の祈りに支えられて無事出産することができました。お祈り心から感謝します。

私たちの唯一の永遠の希望であられる、救い主イエス・キリスト様への両親としての賛美と、このお方に常に信頼し、このお方だけに望みを置いて長男が人生を送ることを願って、「主よ。今、私は何を待ち望みましょう。私の望み、それはあなたです。」（詩篇39：7）から唯希也（ゆきや）と名付けました。

彼が一日も早く、私たちの主イエス様にある唯一の希望を頂き、主をいつも彼の希望として見上げていく信仰が与えられますようにお祈り頂ければ幸いです。（岐阜県在住 Y.N）



献金を捧げます。夏のキャンプでは本当にお世話になりました。スタッフの皆様が霊肉共に守られますよう祈っております。

（静岡 石川愛人）

第6回 みことば習字コンクール作品大募集！

対象：幼児から大人まで

締め切り：2014年1月10日

展示：2014年1月27日(月)

展示会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

課題等問合せ：上原知子

TEL 090-6178-2840

email：afruitfulvine.128@nifty.com

*同時開催のなんでも発表会も出演者大募集です。

DREAM CANADA

5カ月ホームステイ in カナダ

第17回 (2014/2月~7月予定)

カナダの雄大な大自然に囲まれながら英語を学習し、神様との関係も深められると好評のDREAM CANADA留学プログラム。スキー、乗馬、ゴルフなど盛りだくさんのアクティビティや、クリスチャン教育も充実！ 地元カナダのクリスチャンスクールの生徒さんとも交流を持つことができ、さらなる英語の実力がつけられます！ 第17回は2014年2月4日から7月6日の予定です。お問い合わせは、チア・にっぽん事務局まで (Eメール: kuwatani@cheajapan.com)。

今回は、第15回 (今年2月~7月) に参加した堀井勇士君 (15) のレポートの続きをご紹介します。

「ドリームカナダに参加して パート2」 堀井 勇士

滞在は、前半はコモックス、そして後半カリブーです。カリブーでは、クラスで一番仲の良かったジェリーと一緒にホームステイになりました。ジェリーとは毎日一緒にバスケットをしたり、ギターを弾いたりして、とても仲良く過ごしました。

カリブーでのホストファミリーのロイナハンさんたちもとても面白くて、いい人たちでした。よくショッピングに連れて行ってもらい、たまに夢のように美しいゴルフ場にも連れて行ってくれました。

学校ではいい先生たちばかりで、楽しく英語を学ぶことができました。授業は半分以上バイブル・スタディーみたいな感じで、それに加えて午後はクリスチャン・エデュケーションという聖書の勉強の時間です。クリスチャン・エデュケーションではいろんな興味のあるトピックが沢山ありました。音楽、映画、ゲーム、また恋愛について、そのほかにもいろんなトピックがあり、それらを聖書の視点から教えられ、また考えさせられました。

学校の午後の時間はアフタヌーン・アクティビティで、いろんな経験をさせてもらいました。乗馬、ゴルフ、ホッケー、ラクロス、カーリング……。僕が一番の楽しみでした。

日曜日、教会に行くのも僕の楽しみでした。牧師先生は話がとても面白く、毎週集中してメッセージを聞いていました。ワーシップの時にはピアノの演奏をさせてもらい、英語の賛美も沢山覚えることができました。

水曜日には教会のユースグループがあり、毎週参加していました。ゲームしたり、賛美、メッセージを聞いたりとても楽しく、カナダ人の友達も沢山できました。

カナダに行って変わったことが2つあります。1つは祈りです。毎日神様が何を僕に語ろうとしているのか祈りながら聖書を一節一節大切に読むようになりました。毎晩、聖書を読み、そしてノートに思ったことなどを書いていました。日本に戻ってきても続けています。もう1つは両親に従うこと。いや

いや従うのではなく、心から両親に仕え、手伝いをするできるようになりました。

カナダの5ヶ月間の滞在を通してここでは書ききれない多くの恵みを受けました。神様の大きさを体験すること、聖書からの深い学び、日本では経験できないアクティビティ、そして何よりも私を愛して下さっている神様に近くなれたことです。

本当にカナダに行けてよかった!!

【父親より一言】

勇士をドリームカナダに送ることは私たち家族にとっても大きなチャレンジでした。経済面、事故や病気、そして勇士がどのように変えられるのか？ 勇士の帰国後、成長した姿に「無理をして、行かせて正解だったね」と妻とも話しています。

スカイプで、カナダにいる勇士と何回か話す機会があり、カナダの様子も垣間見ることができました。ホストファミリーが勇士をお客さんとしてではなく、自分の子どもとして迎え優しく、時に厳しく接して下さっている様子には感動し、ホストペアレンツにスカイプでなんとかその思いを伝えようとしたのですが、「サンキュー、サンキュー」の繰り返しになってしまいました。この経験は、生涯勇士の宝になることでしょう。このような機会を与えてくださった主に感謝しつつ。



アイスホッケーも体験 (後列右端が勇士君)

名作映画DVD(書籍)オーダーシート

⇒FAX 03-6862-8648 メール office@cheajapan.com または郵送

NEW! 「舟を編む」(11月8日発売) 3,990円 () 枚		NEW! 「奇跡のリンゴ」(12月20日発売) 4,935円 () 枚	
☆「舟を編む」「奇跡のリンゴ」のいなちゃんの評論は、次号以降の予定です			
◆「レ・ミゼラブル」(ミュージカル版) 2,480円 () 枚	◆「レ・ミゼラブル」(ドラマ版) 1,480円 () 枚		
◆「ヒューゴの不思議な発明」 4,179円→1,500円 () 枚	◆廉価版!「カーズ2」 1,890円 () 枚		
◆「スヌービーと感謝祭」 2,100円 () 枚	◆「スヌービーとクリスマス」 2,100円 () 枚		
◆ドキュメント「ソウル・サーファーの心」(約2時間、各賞受賞多数。ポスター付) 2,625円→1,500円 () 枚			
◆DVD「ソウル・サーファー」 3,360円 () 枚	◆書籍「ソウル・サーファー」 693円 () 冊		
◆「キング・オブ・キングス」(1961年版) 2,625円 () 枚	◆「空飛ぶペンギン」 1,490円 () 枚		
◆「アメイジング・グレイス」 3,990円→特価3,490円 () 枚			
◆DVD「ファイアー・ストーム」+書籍「決断する愛」セット		3,990円 () セット	
期間限定「トイストーリー3」 1,890円 () 枚	◆「しあわせの隠れ場所」 1,500円 () 枚		
◆「カーズ」 1,890円 () 枚	◆「ノウイング」 3,990円 () 枚		
◆「カールじいさんの空飛ぶ家」 1,890円 () 枚	◆「怪盗グルーの月泥棒」 1,500円 () 枚		
◆「僕はラジオ」 1,480円 () 枚	◆「ワルキューレ」 3,990円 () 枚		
◆「ライフ・イズ・ビューティフル」 1,890円 () 枚	◆「プリンス・オブ・エジプト」 1,890円 () 枚		
◆「かみさまへのてがみ」 3,990円 () 枚	◆「ナルニア国物語3」 1,490円 () 枚		
◆「大草原の小さな家シーズン1」 4,980円 () 枚	◆書籍「決断する愛」 1,680円 () 冊		
◆「大草原の小さな家シーズン2」 4,980円 () 枚	◆「トゥルー・グリット」 1,500円 () 枚		
◆「大草原の小さな家シーズン3」 4,980円 () 枚	◆「チェンジング レーン」 1,500円 () 枚		
◆「スパイキッズ」 1,890円 () 枚	◆「グラン・トリノ」 1,500円 () 枚		
◆「スパイキッズ2」 1,890円 () 枚	◆「グレイテスト・ゲーム」 1,500円 () 枚		
◆「天地創造」 1,490円 () 枚	◆「塩狩峠」 3,129円 () 枚		
◆「アイ・アム・レジェンド」 1,500円 () 枚	◆「ドリームズ・カム・トゥルー」 1,480円 () 枚		
◆「サムソンとデリラ」 500円 () 枚	◆「十戒」 2,480円 () 枚		
◆「若草物語」 500円 () 枚	◆「ザ・ウォーカー」 2,940円 () 枚		
◆「偉大な生涯の物語」 1,990円 () 枚	◆「トゥルーマンショー」 1,500円 () 枚		
◆「バグズライフ」 1,890円 () 枚	◆「素晴らしき哉、人生」 500円 () 枚		
◆「ナルニア国物語 第1章」 1,890円 () 枚	◆「名犬ラッシー」 500円 () 枚		
◆「炎のランナー」 1,480円 () 枚	◆「クオ・ヴァディス」 500円 () 枚		
◆「フェイスング ザ ジャイアント」 1,480円 () 枚	◆「聖衣」 500円 () 枚		
◆「サウンド オブ ミュージック」 1,490円 () 枚	◆「サイモン パーチ」 1,500円 () 枚		
◆「パッション」 4,725円 () 枚	◆「剣と十字架」 1,990円 () 枚		
◆「黄昏」 1,500円 () 枚	◆「ファインディング・ニモ」 1,890円 () 枚		
◆「トイストーリー」 1,890円 () 枚	◆「Mr. インクレディブル」 1,890円 () 枚		
◆「トイストーリー2」 1,890円 () 枚	◆「ベン・ハー」 1,500円 () 枚		
◆「RV」 1,480円 () 枚	◆「奇跡の人」 1,990円 () 枚		
◆「幸せのちから」 1,980円 () 枚	◆「96時間」 1,490円 () 枚		
合計		枚	円

(個人鑑賞用です)(価格はすべて税込)※5000円未満の注文、または遠隔地の場合、送料(実費)あり。※1万円以上のご購入の場合、代引発送となります。
※品切れの際は、少し発送にお時間を頂く可能性があります。また、製造中止の場合、廉価版完売等の場合もありますので、どうぞご了承下さい。

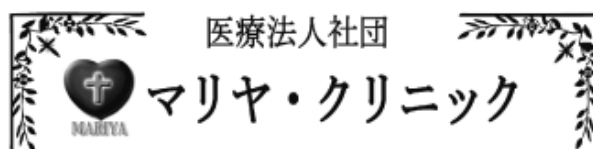
お名前	お電話番号
(〒)	
ご住所	

チア・にっぽんカレンダー

- 白馬セミナー2013
11月21日(木) -23日(土)
◆ホテル・グリーンプラザ白馬(長野)
- チア・コンベンション2014
大阪:2014年5月30日(金) -31日(土)
◆大阪府羽衣青少年センター(大阪・高石市)
東京:2014年6月6日(金) -7日(土)
◆国立オリンピック記念青少年総合センター
(東京・代々木)
- チア・サマーキャンプ2014
2014年8月14日(木) -16日(土)
◆仙台明泉学園(宮城)

第1回チャリティ陸上(主催: Sola)

日時: 11月9日(土) 9:30-16:45
場所: 府中市市民陸上競技場
(ホームスクーラーの志賀さんファミリーからの案内です。
詳細はwww.cheajapan.comへ)



医療法人社団

マリヤ・クリニック

内科・小児科

〒263-0043

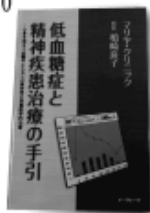
千葉市稲毛区小仲台6-19-19 Myビル

Tel: (043) 287-2624 Fax: (043) 287-2610

http://mariyaclinic.com/

柏崎良子院長著
低血糖症と精神疾患治療の手引
第4版販売中

問い合わせ: 株式会社ヨーゼフ



株式会社 ヨーゼフ

柏崎良子・柏崎久雄共著
神のデザインによる医療
絶賛販売中

問い合わせ: 株式会社ヨーゼフ

Tel: (043) 207-6035

FAX: (043) 207-6036

メール: info@yozeph.com

http://yozeph.com



8月会計	
収入	
献金	938,000
書籍・教科書	95,414
会費	82,000
広告	20,000
DVD/CD、ビデオ等	58,156
その他	127,130
	1,320,700
支出	
事務局経費	924,898
通信運搬費	65,778
交通費	66,210
印刷費	534,767
DVD仕入費	91,271
	1,682,924
残高	-362,224
前期繰越	321,389
翌期繰越	-40,835

☆尊い献金、会費の送金を、心から
感謝いたします。

サマリタンズ・パースのクリスマス伝道
「オペレーション クリスマス
チャイルド」へのご協力、
お願いします!

東日本大震災の時、チア東北サポートにて、
救援物資や宿泊等で、とてもお世話になりました
サマリタンズ・パースの皆さん。日本では昨
年から、フィリピンの子どもたちに、靴箱にギ
フトを入れて、福音と共にプレゼントする「オ
ペレーション クリスマス チャイルド(OCC)」
が行われ、今年もチア・にっぽんの皆さん
への協力依頼が届いています。チアの目的の
「世界宣教」にない、誰でもできる伝道の一
つとして、チアとしても協力させて頂いていま
す。靴箱に、子ども用のプレゼントを入れて、サ
マリタンズ・パースの皆さんに送るだけです(11
月22日締切。詳細はサマリタンズ・パースのホ
ームページへ www.samaritanspurse.jp)。も
し、導かれましたら、トライしてみませんか(?)。
ご協力よろしくをお願いします。



Cheajapan

チア・にっぽん事務局

〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103

TEL 042-318-1807 メール対応FAX 03-6862-8648

メール office@cheajapan.com

www.cheajapan.com